

# 総合講義（I）

|              |   |        |                  |
|--------------|---|--------|------------------|
| 責任者・コーディネーター | 口腔医学講座(予防歯科学分野) 岸 光男 教授<br>医療工学講座 武本 真治 教授<br>解剖学講座(機能形態学分野) 藤原 尚樹 教授 |        |                  |
| 担当講座(分野)     | 歯学部専門科目担当講座   |        |                  |
| 対象学年         | 5   | 区分・時間数 | 講義/演習<br>214.3時間 |
| 期間           | 通期  |        |                  |

## 学修方針（講義概要等）

4年生までに歯科医学の基礎系科目および臨床系コースでの講義と実習を通して、歯科医学の基礎知識を学修してきている。5年生では臨床実習を通してこれまでに習得している科学的な根拠となる基礎知識を確認し、歯科臨床との関わりを理解することが重要である。総合講義（I）では、基礎系科目と臨床系科目との有機的な結びつきを深めることで、臨床実習での専門的知識への理解度を深め、総合的な歯科医学の見識を深めることを目的とする。本講義を通じて、スチューデントデンティストとして臨床実習の実践に必要な知識を中心に講義を行う。

## 教育成果（アウトカム）

臨床実習において診療参加型実習を実践している中で、科学的な根拠をもとに統合された知識、技能、態度を有し、全身的、心理的、社会的状況に対応可能な総合的な診療を実践するために、歯科医学臨床に直結する内容で今までに学んだ専門分野の知識を振り返り、知識と技能の融合を行う。

（関連するディプロマポリシー：1、2、5、7、8、9）

## 事前事後学修の具体的内容及び時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、第4学年までに修了している各系統講義で用いた学修資料（教科書、レジメ等）や事前にWeb Classにアップされた講義資料等を用いて事前学修を行うこと。講義終了後は、教科書や講義資料等を活用し、事後学修を行うこと。各講義に対する事前事後学修の時間は最低30分を要する。本内容は全講義に対して該当するものとする。

（事前学修：最低30分を要する 事後学修：最低30分を要する）

## 講義/演習日程表

【臨床試験(3月30日)、臨床試験解説講義(3月31日～4月3日)】

【必修試験①(4月5日)、必修試験②(4月19日)、必修試験①②解説講義(4月28日～5月6日)】

| 区分 | 月日<br>(曜)   | 時限                    | 担当教員<br>(講座 分野)           | ユニット名<br>内容   | 到達目標<br>[コア・カリキュラム]<br>事前事後学修  |
|----|---|-----------------------|---------------------------|---|--|
|    | 3/30<br>(木)   | 午後                    |                           | 臨床試験  |  |
| 講義 | <b>臨床試験解説講義<br/>(5・6学年合同)</b><br><br>6学年のシラバスに記載している内容を確認し受講すること。 |                       |                           |   |  |
|    | 4/5<br>(水)  |                       |                           | 必修試験①   |  |
|    | 4/19<br>(水)   |                       |                           | 必修試験②   |  |
| 講義 | 4/28<br>(金)   | 8<br>:<br>4<br>0<br>) | 田村晴希講師(薬理学講座 病態制御学分野)     | <b>薬理学必修知識1</b><br><br>歯科医師として修得すべき薬理学の基本的な事項について理解する。              | 1. 試験解説を通して薬理学領域の必修問題を解くことができるようになる。<br>[C-6-1)-①～③、C-6-2)-①～⑤、C-6-3)-①②、C-6-4)-①②]<br><br>事前学修：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する必修問題について学修しておくこと。   |
| 講義 | 4/28<br>(金)   | 9<br>:<br>3<br>0<br>) | 原田英光教授(解剖学講座 発生生物・再生医学分野) | <b>組織・発生学の必修領域のまとめ</b><br><br>組織・発生学の重要領域を確認し、適切な対策を立てることができるようになる。 | 1. 組織・発生学の必修領域について説明できる。<br>2. 組織・発生学領域における自分自身の弱点を認識し、自分にあった勉強法を見つけることができる。<br>[E-2-2)-①、E-2-3)-①]<br><br>ICT端末を持参すること。<br>事前学修：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。 |

|    |             |                            |                          |  |   |
|----|-------------|----------------------------|--------------------------|--|---|
| 講義 | 4/28<br>(金) | 1<br>0<br>:<br>2<br>0<br>) | 加藤哲也助教 (生理学講座 病態生理学分野)   | <b>必修試験 解説講義</b><br>必修問題に必要な一般生理学、口腔生理学の項目を列挙できる。                        | 1. 歯科医師として必要な生理学領域の必修知識を説明できる。<br>2. 試験解説を通して生理学領域の必修問題を解くことができる。<br>[C-3-4)-(4)-①、C-3-4)-(5)-②～④、⑦～⑨、C-3-4)-(9)-①②]<br><br>事前学修：生理学の基本的事項について、1・2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。  |
| 講義 | 4/28<br>(金) | 1<br>1<br>:<br>1<br>0<br>) | 帖佐直幸准教授 (生化学講座 細胞情報科学分野) | <b>生化学領域の必修知識</b><br>生化学の重要項目ならびに唾液の成分やホルモンの機能について理解する。                  | 1. 歯科医師として必要な生化学領域の必修知識を理解する。<br>2. 唾液成分の由来や機能について説明できる。<br>3. ホルモンの性状や受容体について説明できる。<br>[C-1-1)、C-2-1)、C-2-4)、E-2-2)]<br><br>DESS演習の準備をしておくこと。<br>事前学修：到達目標の内容に関し教科書で調べて講義に臨むこと。  |
| 講義 | 4/28<br>(金) | 1<br>3<br>:<br>0<br>0<br>) | 石河太知教授 (微生物学講座 分子微生物学分野) | <b>微生物学・免疫学必修1 (必修講義)</b><br>歯科医師として習得すべき微生物学・免疫学の基本的な知識や特に重要な必修項目を理解する。 | 1. 必修試験の結果から見えてきた微生物学・免疫学領域に関する理解が不十分な領域を説明できる。<br>[A-5-3]-①, ②, C-3-1]-①～③, ⑥, C-3-2]-①～⑦, E-2-4)-(9)-②, ③, E-1-4)-⑥, ⑧, E-2-4)-(3)-①, E-3-2]-①～⑤]<br><br>アクティブラーニング：ディスカッション方式の講義を行う。<br>ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS演習を行うこと。<br>事前学修：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学修しておくこと。 |
| 講義 | 4/28<br>(金) | 1<br>3<br>:<br>5<br>0<br>) | 藤原尚樹教授 (解剖学講座 機能形態学分野)   | <b>肉眼解剖学・歯の解剖学の必修領域の基本事項</b><br>必修問題に必要な肉眼解剖学と歯の解剖学について体系的に整理・理解する。      | 1. 肉眼解剖学領域に必要な基本的項目を列挙し、説明できる。<br>2. 歯の解剖学領域に必要な基本的項目を列挙し、説明できる。<br>[E-2-1)-①～⑥⑪, E-2-2)-①～④, ⑥, E-3-1)-②]<br><br>事前学修：必修試験の該当領域および過去5年の歯科医師国家試験に出題された類似問題を元にまとめノートを作成しておくこと。講義でその問題及び関連事項についてフィードバックする。  |

|    |             |                            |                             |  |  |
|----|-------------|----------------------------|-----------------------------|--|--|
| 講義 | 4/28<br>(金) | 1<br>4<br>:<br>4<br>0<br>) | 佐藤泰生講師 (病理学講座 病態解析学分野)      | <b>必修試験①・②解説講義</b><br>病理学総論の重要項目について体系的に整理・理解する。   | 1. 歯科医師として必要な病理学領域の必修知識を説明できる。<br>2. 循環障害、増殖と修復について説明できる。<br>[C-5-1)~3)]<br><br>ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。<br>事前学修：スタンダード病理学p74-109, p42-60を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する) |
| 講義 | 4/28<br>(金) | 1<br>5<br>:<br>3<br>0<br>) | 武本真治教授 (医療工学講座)             | <b>歯科理工学必修試験解説講義</b><br><br>歯科理工学領域の基本的事項について理解する。 | 歯科理工学領域の基本的知識を説明できる。<br>[D-1、D-2]<br><br>事前学修：2・3年次に使用した教科書 (スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノート<br>の必修試験2で出題された問題に関連する項目に目を通して講義に臨むこと。講義中随時知識確認のための質問とフィードバックを行う。                                    |
| 講義 | 4/28<br>(金) | 1<br>6<br>:<br>2<br>0<br>) | 工藤義之准教授 (歯科保存学講座 う蝕治療学分野)   | <b>一般教養問題</b><br><br>一般教養領域の必修領域について理解する。          | 1. 試験解説を通して一般教養領域の必修問題を解くことができるようになる。<br>[A-9]<br><br>DESS演習の準備をしておくこと。<br>事前学修：国家試験出題基準の一般教養領域必修部分を読んてくること。   |
| 講義 | 5/1<br>(月)  | 8<br>:<br>4<br>0<br>)      | 八重柏隆教授 (歯科保存学講座 歯周療法学分野)    | <b>歯周領域必修問題①②</b><br><br>歯周領域の必修問題について具体例を参考に理解する。 | 1. 試験解説を通して歯周領域の必修問題を解くことができる。<br>[E-3-2)-③④、E-3-3)-(3)-①~⑤]<br><br>事前学修：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。   |
| 講義 | 5/1<br>(月)  | 1<br>0<br>:<br>1<br>0<br>) | 佐藤健一教授 (口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野) | <b>歯科麻酔領域必修問題1</b><br><br>歯科麻酔の必修領域について理解する。       | 試験解説を通して歯科麻酔領域の必修問題を解くことができるようになる。<br>[E-1-4)、E-1-6]、E-6-②]<br><br>事前学修：国家試験出題基準の歯科麻酔領域の必修部分を読んてくること。  |

|    |            |                            |   |   |   |
|----|------------|----------------------------|---|---|---|
| 講義 | 5/1<br>(月) | 1<br>1<br>:<br>4<br>0<br>) | 熊谷章子准教授 (法科学講座 法歯学・災害口腔医学分野)                    | <b>法歯学・災害口腔医学必修</b><br><br>法歯学・災害口腔医学の必修領域について理解できる。      | 法歯学・災害口腔医学の基本的事項を列挙し説明できる。<br>[A-1-3)-④、A-4-2)-⑦、A-6-1)-⑦、A-6-2)-①、A-7-1)-⑥、B-2-2)-⑥⑨、B-2-3)-①②、C-5-7)-①、E-4-2)-⑪、E-5-1)-⑪]<br><br>事前学修：必修試験で出題された内容を講義ノートと教科書で確認しておくこと(所要時間30分以上)。<br>事後学修：講義で習得した基本的事項をまとめること(所要時間30分以上)。 |
| 講義 | 5/1<br>(月) | 1<br>3<br>:<br>0<br>0<br>) | 岸光男教授 (口腔医学講座 予防歯科学分野)                          | <b>必修の基本事項2</b><br><br>予防歯科学領域の必修の基本事項についての重要性を理解する。      | 1. 社会歯科学領域の必修の基本的事項の重要性を概説できる。<br>2. 臨床予防歯科学領域の必修の基本的事項の重要性を概説できる。<br>[A-1、A-3~7、B-2, 3]<br><br>事前学修：必修試験問題の疑問点を整理しておくこと。講義中、適宜質疑応答を行う。   |
| 講義 | 5/1<br>(月) | 1<br>5<br>:<br>4<br>0<br>) | 清水峻介助教<br>菅徹也助教<br>千田弥栄子助教<br>(歯科保存学講座 う蝕治療学分野) | <b>歯内・修復・総合領域必修問題</b><br><br>総合歯科の必修領域について理解する。           | 1. 試験解説を通して総合領域の必修問題を解くことができるようになる。<br>[A-4、A-5]<br><br>事前学修：国家試験出題基準の修復領域必修部分を読んてくること。   |
| 講義 | 5/2<br>(月) | 8<br>:<br>4<br>0<br>)      | 米澤悠助教 (補綴・インプラント学講座 補綴・インプラント学分野)               | <b>補綴領域必修解説</b><br><br>有床義歯学の必修領域について理解する。                | 1. 試験解説を通して有床義歯学領域の必修問題を解くことができるようになる。<br>[E-3-4)-(2)]<br><br>ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。<br>事前学修：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。   |
| 講義 | 5/2<br>(月) | 1<br>0<br>:<br>1<br>0<br>) | 野尻俊樹助教 (補綴・インプラント学講座 補綴・インプラント学分野)              | <b>クラウンブリッジ学領域必修問題</b><br><br>クラウンブリッジ補綴学領域の必修問題について理解する。 | 1. 試験解説を通してクラウンブリッジ補綴学領域の必修問題を解くことができるようになる。<br>[E-3-4)-(1)]  |

|    |            |                            |                                   |  |  |
|----|------------|----------------------------|-----------------------------------|--|--|
| 講義 | 5/2<br>(月) | 1<br>1<br>:<br>4<br>0<br>) | 千葉俊美教授（口腔医学講座 関連医学分野）             | <b>内科学領域必修問題1</b><br>内科学の必修領域について理解する。       | 1. 試験解説を通して内科領域の必修問題を解くことができるようになる。<br>[E-6-①～③]<br><br>事前学修：内科学に関する国家試験問題を確認し講義に臨むこと。                                       |
| 講義 | 5/2<br>(月) | 1<br>3<br>:<br>0<br>0<br>) | 宮本郁也教授（口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野）        | <b>必修試験①②解説講義</b><br>口腔外科領域の必修問題について理解する。    | 必修試験①②の試験解説を通して口腔外科領域の必修問題を解くことができるようになる。<br>[A-3-①～⑥]   |
| 講義 | 5/2<br>(月) | 1<br>5<br>:<br>4<br>0<br>) | 泉澤充准教授（口腔顎顔面再建学講座 歯科放射線学分野）       | <b>放射線領域の基本1</b><br>放射線領域の基本的な項目について修得する。    | 1. 放射線領域の基本的な項目を列挙し、説明できる。<br>[E-1-2)-①～⑨]   |
| 講義 | 5/2<br>(月) | 1<br>7<br>:<br>1<br>0<br>) | 桑島幸紀（口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野）           | <b>歯科矯正領域の必修問題</b><br>歯科矯正学領域の基本的事項について理解する。 | 1. 試験解説を通して矯正領域の必修問題を解くことができるようになる。<br>[E-4-1)-(1)-①～⑦]<br><br>事前学修：歯科矯正学の必修問題についてまとめ、各自の弱点ならびに疑問点を抽出すること。                   |
| 講義 | 5/6<br>(土) | 8<br>:<br>4<br>0<br>)      | 5/1(月)15：40～の欄に歯内・修復・総合についてまとめて記載 |  |  |
| 講義 | 5/6<br>(土) | 1<br>0<br>:<br>1<br>0<br>) | 齊藤桂子助教（口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野）  | <b>小児歯科学領域必修問題</b><br>小児歯科学領域の基本的事項について理解する。 | 試験解説を通して小児歯科学領域の必修問題を解くことができる。<br>[E-4-2)-①～⑫]<br><br>事前学修：過去5年分の小児歯科学領域の必修問題を確認しておく。<br>アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。 |
| 講義 | 5/6<br>(土) | 1<br>1<br>:<br>4<br>0<br>) | 菊池和子講師（口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野）  | <b>必修試験①②解説講義</b><br>障害者歯科学領域の必修問題について理解する。  | 試験解説を通して障害者歯科学領域の必修問題を解くことができるようになる。<br>[B-2-2)-①、E-5-2)-①～④、F-3-7)-②]<br><br>事前学修：国家試験出題基準の障害者歯科学領域の必修部分を読んでくること。           |

## 講義/演習日程表

講義日程（1限：8:40～9:40、2限：9:50～10:50、3限：11:00～12:00、4限：13:00～14:00、  
5限：14:10～15:10、6限：15:20～16:20、7限：16:30～17:30、8限：17:30～18:30）

| 区分 | 月日<br>(曜)   | 時限 | 担当教員<br>(講座 分野)           | ユニット名<br>内容   | 到達目標<br>[コア・カリキュラム]<br>事前事後学修  |
|----|-------------|----|---------------------------|---|--|
| 講義 | 4/18<br>(火) | 1  | 岸光男教授（口腔医学講座 予防歯科学分野）     | <b>必修の基本事項1<br/>予防歯科必修試験①解説</b><br><br>必修問題に必要な社会歯科学、公衆衛生学、口腔衛生学の項目を列挙できる。  | 1. 必修問題に特異的な出題基準を列挙できるようになる。<br>2. 必修問題を通して一般、臨実問題に共通する基礎的知識を把握できるようになる。<br>[A-1、A-2、A-5、A-6、B-1～4]<br><br>事前学修：必修試験①の予防歯科関連問題を想起して学修課題を整理しておくこと。講義中随時知識確認のための質問とフィードバックを行う。     |
| 講義 | 4/18<br>(火) | 2  | 八重柏隆教授（歯科保存学講座 歯周療法学分野）   | <b>歯周領域必修問題，一般問題，臨床実地問題</b><br><br>歯周領域の必修問題，一般問題，臨床実地問題について具体的出題例を参考に理解する。 | 1. 歯周領域必修問題，一般問題，臨床実地問題に求められる基本的な考え方を説明できる。<br>2. 臨床実地問題への有効な取り組み方を具体的に概説できる。<br>3. 歯周領域学修方法の要点を説明できる。<br>[E-3-2)-①③④、E-3-3)-(3)-①②③]<br><br>事前学修：ザ・ペリオドントロジー3版、臨床歯周病学3版で復習しておく。 |
| 講義 | 4/18<br>(火) | 3  | 佐藤和朗教授（口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野） | <b>矯正歯科学1</b><br><br>顎顔面の成長発育   | 1. 口腔の発生について説明できる。<br>2. 頭蓋の成長について説明できる。<br>3. 上顎の成長について説明できる。<br>4. 下顎の成長について説明できる。<br>[C-3-2-③④]<br><br>事前学修：歯科矯正学p14～65を読み、疑問点を抽出しておくこと。                                      |
| 講義 | 4/18<br>(金) | 7  | 田村晴希講師（薬理学講座 病態制御学分野）     | <b>薬理学必修知識1</b><br><br>歯科医師として修得すべき薬理学の基本的な事項について理解する。                      | 1. 試験解説を通して薬理学領域の必修問題を解くことができるようになる。<br>[C-6-1)-①～③、C-6-2)-①～⑤、C-6-3)-①②、C-6-4)-①②]<br><br>事前学修：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する必修問題について学修しておくこと。   |

|    |             |   |                                  |   |   |
|----|-------------|---|----------------------------------|---|---|
| 講義 | 4/25<br>(火) | 1 | 石河太知教授（微生物学講座 分子微生物学分野）          | <b>微生物学総論</b><br>病原微生物の生物分類学上の位置づけおよびその性状を理解する。 | 1. 微生物の構造・性状について説明できる。<br>2. 感染の概念と感染症について説明できる。<br>3. 宿主-寄生体相互作用について説明できる。<br>[C-3-1)-①②、E-2-4)-(3)-①、E-2-4)-(9)-②]<br><br>事前学修：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題を学修しておく。                     |
| 講義 | 4/25<br>(火) | 2 | 菅徹也助教（歯科保存学講座 う蝕治療学分野）           | <b>齶蝕 歯内療法学1<br/>診査・診断</b>                      | 1. 歯内療法に必要な診査法を説明できる。<br>2. 歯内疾患の診断ができる。<br>3. 診査に必要な器具と使用方法を説明できる。<br>[E-3-2)、E-3-3)-(2)]<br><br>事前学修：歯髄疾患の診査診断について、講義ノート、実習書を参照。理解ができない場合は、教科書（医歯薬歯内治療学）にて確認する。                       |
| 講義 | 4/25<br>(火) | 3 | 橋口大輔助教（口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野） | <b>小児歯科学1<br/>小児の心身の発育</b><br>小児の成長発育を理解する。     | 1. 小児の年齢を正しく評価できる。<br>2. 小児の身体的発育を正しく評価できる。<br>3. 小児の精神発達段階を説明できる。<br>4. 小児の生理的特徴を理解できる。<br>[C-3-2)-④]<br><br>事前学修：小児の心身の発育について教科書に目を通して講義に臨むこと。<br>アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。 |

|    |             |   |                             |   |  |
|----|-------------|---|-----------------------------|---|--|
| 講義 | 4/25<br>(火) | 7 | 泉澤充准教授（口腔顎顔面再建学講座 歯科放射線学分野） | <b>CT・MRI・US検査</b><br>顎顔面領域の適切な診断を行うため、各種診断装置の原理と適応について理解する。          | 1. CT値、部分容積効果について説明できる。<br>2. 歯科用コーンビームCTとX線CTの画像形成原理と適応を説明できる。<br>3. CTで用いられる造影撮影の目的と造影剤使用禁忌を列記できる。<br>4. MRIの画像形成原理と適応について説明できる。<br>5. MRIで用いられる造影撮影の目的と造影剤使用禁忌を列記できる。<br>6. 超音波断層法の画像形成原理と適応を説明できる。<br>7. PET検査、核種について説明できる。<br>8. シンチグラフィ検査と核種について説明できる。<br><b>[E-1-2)-⑤⑨]</b><br><br>事前学習：各種画像診断装置の原理、適応を事前に学習し、まとめておくこと。 |
| 講義 | 5/9<br>(火)  | 1 | 三浦利貴助教（微生物学講座 分子微生物学分野）     | <b>口腔細菌</b><br>口腔の正常フローラ、口腔細菌の性状および病原因子を学び、齲蝕・歯周疾患・歯内疾患の成立・発症機序を理解する。 | 1. 口腔のニッチとその構成細菌について説明できる。<br>2. 口腔病原微生物の特徴と病原因子について説明できる。<br>3. 齲蝕の成立機序について説明できる。<br>4. 歯周炎の成立機序について説明できる。<br>5. 歯内疾患の成立機序について説明できる。<br><b>[A-5-3)-①②、C-3-1)-①～③⑥、E-1-4)-⑥⑧、E-2-4)-(3)-①、E-3-2)-①～⑤]</b><br><br>事前学修：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学修しておくこと。  |
| 講義 | 5/9<br>(火)  | 2 | 清水峻介助教（歯科保存学講座 う蝕治療学分野）     | <b>齲蝕 保存修復学1</b><br><b>齲蝕</b>   | 1. 齲蝕歯質において除去すべき歯質を説明できる。<br>2. 齲蝕において残すべき歯質を説明できる。<br>3. 齲蝕検知液について説明できる。<br><b>[E-3-3)-(1)-②⑤、E-5-1)-⑦]</b><br><br>事前学修：齲蝕の診査診断について、講義ノート、実習書を参照。理解ができない場合は、教科書（医歯薬保存修復学）にて確認する。  |

|    |             |   |                            |   |  |
|----|-------------|---|----------------------------|---|--|
| 講義 | 5/9<br>(火)  | 3 | 佐藤健一教授（口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野） | <b>歯科麻酔学1</b><br>局所麻酔法<br>局所麻酔法を学ぶことで歯科治療時の局所麻酔の重要性を理解することができる。 | 1. 局所麻酔の目的を説明できる。<br>2. 局所麻酔の特徴を説明できる。<br>3. 局所麻酔添加薬（血管収縮薬）を説明できる。<br>[E-1-4)-(3)]<br><br>事前学修：到達目標の内容に関し臨床歯科麻酔学第6版（第4章1、第5章1～4）を用いて調べる。所要時間30分以上。 |
| 講義 | 5/16<br>(火) | 1 | 岸光男教授（口腔医学講座 予防歯科学分野）      | <b>疫学1</b><br>疫学の基本的考え方を学ぶことで、診療、地域補年に対する論理的な方略を策定できるようになる。     | 1. 疫学の研究方法を列挙できる。<br>2. 歯科領域の疫学調査方法を概説できる。<br>[B-4-1)-①-③]<br><br>事前学修：2年時衛生・公衆衛生学の教科書、資料の該当範囲を通読しておくこと。講義中、適宜課題の呈示と質疑応答を行う。                       |
| 講義 | 5/16<br>(火) | 2 | 帖佐直幸准教授（生化学講座 細胞情報科学分野）    | <b>唾液の生化学</b><br>唾液の成分とその作用について理解する。                            | 1. 唾液成分を列挙し、その作用を説明できる。<br>2. 唾液中の酵素の働きを説明できる。<br>3. 唾液中の抗菌因子の作用機序を説明できる。<br>[C-2-4)-①③、C-3-4)-(2)-④⑤]<br><br>事前学修：到達目標の内容に関し教科書で調べて講義に臨むこと。       |
| 講義 | 5/16<br>(火) | 3 | 佐藤和朗教授（口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野）  | <b>矯正歯科学2</b><br>矯正治療における診断                                     | 1. 口腔模型について説明できる。<br>2. セットアップ模型について説明できる。<br>3. エックス線検査について説明できる。<br>4. 機能検査について説明できる。<br>[E-4-1)-③]<br><br>事前学修：歯科矯正学p145～174を読み、疑問点を抽出しておくこと。   |
| 講義 | 5/16<br>(火) | 7 | 山田ありさ助教（薬理学講座 病態制御学分野）     | <b>抗炎症薬</b><br>歯科診療を行う上で必要な抗炎症薬を理解する。                           | 1. 抗炎症薬の作用機序を説明できる。<br>2. 抗炎症薬の副作用を説明できる。<br>[C-6-2)-②、C-6-4)-①]<br><br>事前学修：作用機序と副作用についてまとめておくこと。   |

|    |             |   |                                  |   |   |
|----|-------------|---|----------------------------------|---|---|
| 講義 | 5/23<br>(火) | 1 | 原田英光教授（解剖学講座 発生生物・再生医学分野）        | <b>上皮総括的理解～その構造と機能破綻を考える&lt;口腔疾患と全身1&gt;</b><br><br>上皮・結合組織の基本的な構造・機能とその破綻によって引き起こされる疾患との関連を理解できるようになる。 | 1. 上皮の基本的構造が説明できる。<br>2. 上皮の細胞と細胞間接着装置について説明できる。<br>3. 細胞間接着装置に異常を来す疾患を列挙して、その病因を説明できる。<br>[C-2-4)-③、C-3-4)-(1)、C-3-4)-(2)-②、E-2-4)-(1)-①、E-2-4)-(10)-⑤]<br><br>事前学修：細胞間接着装置・細胞外基質に関連した疾患について、最新口腔外科学第5版を用いて事前に学修しておくこと。        |
| 講義 | 5/23<br>(火) | 2 | 宮本郁也教授（口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野）       | <b>嚢胞</b><br><br>口腔顎顔面領域に発生する嚢胞の分類、発生病因、診断、治療法を習得する。  | 1. 顎骨および軟組織に発生する嚢胞を説明する。<br>2. 顎骨および軟組織に発生する嚢胞の治療法を説明する。<br>[E-2-4)-(5)]<br><br>事前学修：口腔外科学第3版医歯薬出版P297～326を読み、疑問点を抽出しておくこと。（30分）  |
| 講義 | 5/23<br>(火) | 3 | 米澤悠助教（補綴・インプラント学講座 補綴・インプラント学分野） | <b>有床義歯学1</b><br><br>部分床義歯に必要な知識を整理して床義歯製作手法を理解する。  | 1. 部分床義歯の各操作の目的を説明できる。<br>2. 部分床義歯製作術式を説明出来る<br>[E-3-4)-(2)-①～⑭]<br><br>事前学修：義歯製作における精密印象採得について、4年次の有床義歯補綴学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。   |
| 講義 | 5/23<br>(火) | 7 | 澤田智史准教授（医療工学講座）                  | <b>印象用材料/模型用材料</b><br><br>歯科臨床で使用する印象用材料について学ぶ。   | 1. 歯科臨床における印象材の選択基準を説明できる。<br>2. 印象材の種類とタイプを説明できる。<br>3. 歯科臨床における印象材の用途を説明できる。<br>4. 印象材の成分・組成と硬化機構および性質を説明できる。<br>5. 模型材の種類と特徴を説明できる。<br>[D-1-②③、D-2-②]<br><br>事前学修：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 |

|    |             |   |                                   |   |  |
|----|-------------|---|-----------------------------------|---|--|
| 講義 | 5/30<br>(火) | 1 | 石河太知教授<br>(微生物学講座 分子<br>微生物学分野)   | <b>免疫学</b><br>免疫応答による生体防御<br>の仕組みを理解する。   | 1. 免疫応答に關与する器官と細胞について説明できる。<br>2. 自然免疫と獲得免疫について説明できる。<br>3. 主なサイトカインとその生物活性について説明できる。<br>4. 微生物の認識機構と排除機構を説明できる。<br>5. 各過敏症の発症メカニズムと代表的な疾患について説明できる。<br>6. 主な免疫不全症の発症機序と疾患について説明できる。<br>7. 自己免疫疾患発現に關与する因子と代表的な自己免疫疾患について説明できる。<br>[C-3-2)-①～⑦、E-2-4)-(9)-③]<br><br>事前学修：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に關連する問題について学修しておくこと。 |
| 講義 | 5/30<br>(火) | 2 | 鈴木茉那美助教 (齒<br>科保存学講座 齒周療<br>法学分野) | <b>齒周病の検査, 診断 (要<br/>点1)</b><br><br>齒周病のリスクファク<br>ターから齒周病の発症,<br>進行を理解する。齒周病<br>の検査方法および必要な<br>診断能力等を身につけ<br>る。 | 1. 齒周領域に求められる学力の水準を説明できる。<br>2. 齒周領域の演習問題を概説できる。<br>3. 齒周領域の要点を説明できる。<br>[E-3-2)-①③④、E-3-3)-(3)-①②③]<br><br>事前学修：ザ・ペリオドントロジー3版、臨床齒周病学3版で復習しておく。  |
| 講義 | 5/30<br>(火) | 3 | 黒瀬雅之教授 (生理<br>学講座 病態生理学分<br>野)    | <b>循環機能と循環器疾患</b><br><br>全身疾患の中で、循環器<br>の機能と病態を学び、他<br>職種連携や在宅での診療<br>を視野に有病者の状態を<br>理解出来る。                     | 1. 心機能を説明出来る。<br>2. 循環機能を説明できる。<br>3. 刺激伝導系を説明出来る。<br>4. 心電図を説明できる。<br>5. 循環器疾患の種類を説明できる。<br>[C-3-4)-(4)-①②③④, E-1-3, E-6)]<br><br>事前学修：該当箇所について、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。   |
| 講義 | 5/30<br>(火) | 7 | 岸光男教授 (口腔医<br>学講座 予防齒科学分<br>野)    | <b>疫学2</b><br><br>疫学の基本的考え方を学<br>ぶことで、診療、地域補<br>年に対する論理的な方略<br>を策定できるようにな<br>る。                                 | 1. 疫学のリスク指標を算出できる。<br>2. 齒科領域の疫学調査方法を概説できる。<br>[B-4-1)-①-③]<br><br>事前学修：2年時衛生・公衆衛生学の教科書、資料の該当範囲を通読しておくこと。講義中、適宜課題の呈示と質疑応答を行う。  |

|    |            |   |                             |  |
|----|------------|---|-----------------------------|--|
| 講義 | 6/6<br>(火) | 1 | 入江太朗教授（病理学講座 病態解析学分野）       | <b>口腔粘膜疾患</b><br><br>1. 水疱性病変について説明できる。<br>2. 赤色病変について説明できる。<br>3. 潰瘍性病変について説明できる。<br>4. 白色病変について説明できる。<br>5. 黒色病変について説明できる。<br>6. 舌炎・口唇炎について説明できる。<br>7. ウイルス性・細菌性感染症について説明できる。<br><b>[E-2-4)-(4)-①②]</b><br><br>事前学修：新口腔病理学p143-161, p283-291を読み、疑問点を抽出しておくこと。 |
| 講義 | 6/6<br>(火) | 2 | 山田浩之教授（口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野）  | <b>口腔粘膜疾患</b><br><br>口腔粘膜疾患の症状、診断、治療法を習得する。<br><br>1. 口内炎やアフタの症状、治療法について説明する。<br>2. 水疱性疾患、ウイルス性疾患の症状、治療法について説明する。<br>3. 角化性疾患、色素沈着などの口腔粘膜疾患の症状について説明する。<br><b>[E-2-4)-(6)]</b><br><br>事前学修：口腔外科学第3版医歯薬出版P163～182を読み、疑問点を抽出しておくこと。                                |
| 講義 | 6/6<br>(火) | 3 | 泉澤充准教授（口腔顎顔面再建学講座 歯科放射線学分野） | <b>歯科放射線学<br/>放射線治療</b><br><br>口腔癌の放射線治療について方法、適応に関する知識を修得する。<br><br>1. 口腔癌の放射線治療の方法と口腔の管理を修得する。<br><b>[E-1-2)-①～③、E-2-4)-(6)-③]</b><br><br>事前学習：頭頸部領域の放射線の分類、適応を理解しまとめておく。  |
| 講義 | 6/6<br>(火) | 7 | 八重柏隆教授（歯科保存学講座 歯周療法学分野）     | <b>歯周外科と根分岐部病変<br/>(要点2)</b><br><br>歯周外科（組織付着療法，再生療法，歯周形成外科，根分岐部病変の処置等）を中心に要点を理解する。<br><br>1. 歯周領域に求められる学力の水準を説明できる。<br>2. 歯周領域の演習問題を概説できる。<br>3. 歯周領域の要点を説明できる。<br><b>[E-3-2)-①③④、E-3-3)-(3)-①②③]</b><br><br>事前学修：ザ・ペリオドントロジー3版、臨床歯周病学3版で復習しておく。                |

|    |             |   |                                  |  |  |
|----|-------------|---|----------------------------------|--|--|
| 講義 | 6/13<br>(火) | 1 | 池崎晶二郎助教（解剖学講座 発生生物・再生医学分野）       | <b>結合組織の総括的理解～その構造と機能破綻を考える</b><br><b>&lt;口腔疾患と全身2&gt;</b><br><br>結合組織の基本的な構造・機能とその破綻によって引き起こされる疾患との関連を理解できるようになる。 | 1. 結合組織の基本的構造が説明できる。<br>2. 結合組織の細胞成分と細胞外マトリックスについて説明できる。<br>3. 結合組織に異常を来す先天性疾患を列挙して、その病因を説明できる。<br>[C-2-4)-③、C-3-4)-(1)、C-3-4)-(2)-②、E-2-4)-(1)-①、E-2-4)-(10)-⑤]<br><br>事前学修：細胞外基質に関連した疾患について、最新口腔外科学第5版を用いて事前に学修しておくこと。 |
| 講義 | 6/13<br>(火) | 2 | 清水峻介助教（歯科保存学講座 う蝕治療学分野）          | <b>齲蝕 保存修復学2</b><br><b>診査・診断</b>   | 1. 齲蝕の診査法を説明できる。<br>2. 齲蝕の診断ができる。<br>3. 急性齲蝕と慢性齲蝕の違いを説明できる。<br>[E-3-3)-(1)-②⑤、E-5-1)-⑦]<br><br>事前学修：齲蝕の診査診断について、講義ノート、実習書を参照。理解ができない場合は、教科書（医歯薬保存修復学）にて確認する。   |
| 講義 | 6/13<br>(火) | 3 | 佐藤健一教授（口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野）       | <b>歯科麻酔学2</b><br><br>麻酔の偶発症<br>局所麻酔時の偶発症とそのメカニズムを学ぶことで偶発症の対処法を理解することができる。  | 1. 局所麻酔および歯科治療時の全身的偶発症を説明できる。（神経性ショック、過換気症候群、アナフィラキシー、局所麻酔中毒、血管収縮薬に対する反応、メトヘモグロビン血症）<br>2. ショックを説明できる。<br>[E-1-4)-(3)-⑤、C-5-4)-⑥]<br><br>事前学修：到達目標の内容に関し臨床歯科麻酔学第6版（第5章5、第12章）を用いて調べる。所要時間30分以上。                          |
| 講義 | 6/13<br>(火) | 7 | 齊藤桂子助教（口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野） | <b>小児歯科学2</b><br><b>歯列・咬合の発育</b><br><br>歯列および咬合の発育を歯の交換の観点から理解する。  | 1. 切歯交換期の特徴を説明できる。<br>2. 側方歯群交換期の特徴を説明できる。<br>[E-2-3)-③]<br><br>事前学修：歯列・咬合の発育(歯の交換)について教科書に目を通して講義に臨むこと。<br>アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。  |

|    |             |   |                                   |  |   |
|----|-------------|---|-----------------------------------|--|---|
| 講義 | 6/20<br>(火) | 2 | 帖佐直幸准教授 (生化学講座 細胞情報科学分野)          | <b>ホルモンの生化学</b><br>ホルモンの構造と作用機序を理解する。    | 1. 細胞膜受容体と細胞内受容体について説明できる。<br>2. ペプチドホルモンとステロイドホルモンの作用機構を説明できる。<br>3. プロテインキナーゼによる細胞内情報伝達機構を概説できる。<br>[C-2-4)-②、C-3-4)-(9)-①]<br><br>事前学修：到達目標の内容に関し教科書で調べて講義に臨むこと。   |
| 講義 | 6/20<br>(火) | 3 | 菅徹也助教 (歯科保存学講座 う蝕治療学分野)           | <b>齶蝕 歯内療法学2<br/>歯髄炎</b>                 | 1. 歯髄腔の解剖学的特徴を説明できる。<br>2. 炎症の病態を説明できる<br>3. 高齢者の歯髄変化が説明できる。<br>[E-3-2)、E-3-3)-(2)]<br><br>事前学修：歯髄炎について、講義ノート、実習書を参照。理解ができない場合は、教科書 (医歯薬歯内治療学) にて確認する。                |
| 講義 | 6/20<br>(火) | 7 | 菊池和子講師 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野) | <b>障がい者歯科 1<br/>各論復習</b>                 | 1. 社会学的問題<br>2. 行動調整<br>3. 各障害者 (知的能力障害、自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、限局性学習症、脳性麻痺、てんかんなど) について述べる事ができる。<br>[B-2-2)-①、E-5-2)-①～④、F-3-7)-②]<br><br>事前学修：4年の講義ノートと教科書に目を通して講義に臨むこと。 |
| 講義 | 6/27<br>(火) | 1 | 田村晴希講師 (薬理学講座 病態制御学分野)            | <b>薬理学総論</b><br>歯科診療を行う上で必要な薬理学的知識を理解する。 | 1. 薬物動態を説明できる。<br>2. 副作用・相互作用を説明できる。<br>[C-6-2)-⑤、C-6-3)-②、C-6-4)-①]<br><br>事前学修課題：総論の要点についてまとめておくこと。   |

|    |             |   |  |  |   |
|----|-------------|---|--|--|---|
| 講義 | 6/27<br>(火) | 2 | 黒瀬雅之教授（生理学講座 病態生理学分野）                    | <b>嚥下機能と認知症</b><br>摂食嚥下機能の維持はQOLを保つ上で歯科医師として重要な役割である。正常時での嚥下機能を学び、嚥下機能の意義を理解出来る。 | 1. 嚥下に関与する器官および嚥下時に生じる運動を説明できる。<br>2. 嚥下の神経機構を説明できる。<br>3. 嚥下の5期について説明できる。<br>4. 認知症の種類を説明できる。<br>5. 認知症と嚥下機能の関連を説明できる。<br>[E-2-1)-⑨⑩⑪, E-2-4)-(11)-②, E-6)]<br><br>事前学修：該当箇所について、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。           |
| 講義 | 6/27<br>(火) | 3 | 小林琢也教授（補綴・インプラント学講座 摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野） | <b>摂食嚥下リハビリテーション①</b><br>摂食嚥下のメカニズムと摂食・嚥下障害の検査法と診断を理解する。                         | 1. 摂食嚥下のメカニズムを説明できる。<br>2. 摂食嚥下の5期モデルについて説明できる。<br>3. 摂食嚥下障害のスクリーニングテストについて説明できる。<br>4. 摂食嚥下障害の精密検査について説明できる。<br>[E-5-1)-⑧⑨]<br><br>事前学修：老年歯科医学 p 299～325、歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 p 2～156を読み、疑問点を500字程度に疑問点をまとめておくこと。 |
| 講義 | 6/27<br>(火) | 7 | James Hobbs 教授<br>(外国語学科英語分野)            | <b>Chair side conversation 1</b><br>英語圏の患者に対し歯科治療を行う際に必要なコミュニケーション力を習得する。        | 1. 英語で問診ができる。<br>2. 英語で治療内容を説明できる。<br>3. 英語で患者と必要なコミュニケーションが取れる。<br>[A-7-2)-①]<br><br>事前学修：3D専門英語テキストを復習しておく。   |

|    |            |   |                                    |   |  |
|----|------------|---|------------------------------------|---|--|
| 講義 | 7/4<br>(火) | 1 | 藤原尚樹教授 (解剖学講座 機能形態学分野)             | <b>印象採得に関わる解剖学</b><br>印象採得に必要な口腔内の構造について理解する。                             | 1. 印象採得に関連する口腔内あるいはそれを裏打ちする解剖学的構造について説明できる。<br>2. 口蓋～口蓋帆の構造と裏打ちする骨や筋の走行について説明できる。<br>3. 咀嚼筋とその付着部と印象採得時に注意すべき点について説明できる。<br>[E-2-1)-③][E-2-2)-①]<br><br>配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。<br><br>事前学修：口腔内の解剖学的特徴・咀嚼筋・口蓋帆の筋の走行についてまとめておくこと。DESSに提示する歯科医師国家試験の過去問から関連領域の問題を解き、必要な知識をまとめておくこと。 |
| 講義 | 7/4<br>(火) | 2 | 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学講座 補綴・インプラント学分野) | <b>有床義歯学2</b><br>全部床義歯に必要な知識を整理して床義歯製作手法を理解する                             | 1. 全部床義歯の各操作の目的を説明出来る。<br>2. 全部床義歯製作術式を説明出来る。<br>[E-3-4)-(2)-①～⑭]<br><br>事前学修：義歯製作における精密印象採得について、4年次の有床義歯補綴学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。   |
| 講義 | 7/4<br>(火) | 3 | 今一裕准教授 (補綴・インプラント学講座 補綴・インプラント学分野) | <b>口腔インプラント学1</b><br>インプラント外科について治療の流れを理解する。                              | 1. インプラントの基本構造を理解し、治療の検査方法と診断について説明できる<br>2. インプラント1次手術および2次手術の術式を理解し、一連の外科処置の流れを説明できる。<br>3. インプラント外科に必要な器具、材料を列挙できる。<br>[E-3-4)-(3)-①～⑤]<br><br>事前学修：4年次に使用した教科書、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。   |
| 講義 | 7/4<br>(火) | 7 | James Hobbs 教授 (外国語学科英語分野)         | <b>Chair side conversation 2</b><br>英語圏の患者に対し歯科治療を行う際に必要なコミュニケーション力を習得する。 | 1. 英語で問診ができる。<br>2. 英語で治療内容を説明できる。<br>3. 英語で患者と必要なコミュニケーションが取れる。<br>[A-7-2)-①]<br><br>事前学修：Chair side conversation 1の講義資料を復習しておく。  |

|    |             |   |                                    |  |   |
|----|-------------|---|------------------------------------|--|---|
| 講義 | 7/11<br>(火) | 1 | 藤原尚樹教授（解剖学講座 機能形態学分野）              | <b>咬合と歯の形態</b><br>咬合について歯の形態との関係から理解する。                          | 1. 前歯部の上顎・下顎の歯の形態的特徴から咬合について説明できる。<br>2. 臼歯部の上顎・下顎の形態的特徴から咬合について説明できる。<br>3. 歯の排列の特徴について説明できる。<br><b>[E-3-1)-②]</b><br><br>配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。<br><br>事前学修：各歯の解剖学的特徴についてまとめておくこと。DESSに提示する歯科医師国家試験の過去問から関連領域の問題を解き、必要な知識をまとめておくこと。 |
| 講義 | 7/11<br>(火) | 2 | 武本真治教授（医療工学講座）                     | <b>歯冠修復用材料</b><br>歯科臨床に応用する歯冠修復材料について学ぶ。                         | 1. 歯科臨床における歯冠修復材の選択基準を説明できる。<br>2. 歯冠修復材の種類を説明できる。<br>3. 歯冠修復材の成分および性質を説明できる。<br>4. 歯冠修復材の取り扱い上の注意点を説明できる。<br><b>[D-1-②、D-2-①②]</b><br><br>事前学修：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。                                |
| 講義 | 7/11<br>(火) | 3 | 齊藤裕美子助教（補綴・インプラント学講座 補綴・インプラント学分野） | <b>冠橋義歯学1<br/>クラウン・ブリッジの治療の流れ</b><br><br>クラウン・ブリッジの臨床の手順について理解する | 1. 診療室と技工室での治療の流れを理解する。<br>2. 診療室と技工室で使用する機器や材料の特性を理解する。<br><b>[E-3-4)-(1)-①～⑬]</b><br><br>アクティブラーニング：ディスカッション方式を取り入れた講義を行う。<br>ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS演習を行うこと。<br>事前学修：クラウン・ブリッジ補綴学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。                         |

|    |             |   |                             |  |  |
|----|-------------|---|-----------------------------|--|--|
| 講義 | 7/18<br>(火) | 7 | 熊谷章子准教授（法科学講座 法歯学・災害口腔医学分野） | <b>災害発生時の病院初動</b><br>発災直後に歯科医師としての適切な対応ができる。 | 1. 業務遂行計画（BCP）の概念を説明できる。<br>2. 歯科治療中に災害が発生した際の適切な対応を説明できる。<br>3. 発災後安全に患者誘導ができる。<br>4. 頭頸部領域の災害傷病者に対応できる。<br>5. ロールプレイングを取り入れて、発災後超急性期から急性期での医療機関における歯科医師の役割と多職種連携による災害対応について理解を深める。<br>[A-5-1)-②③、A-7-1)-⑥、B-2-2)-⑨、B-2-3)-①②]<br><br>事前学修：「災害歯科医学」p26-43を読み、疑問点を抽出しておくこと（所要時間60分以上）。<br>事後学修：講義で習得した基本的事項をまとめること（所要時間30分以上）。 |
| 講義 | 8/1<br>(火)  | 1 | 衣斐美歩講師（病理学講座 病態解析学分野）       | <b>嚢胞</b>                                    | 1. 発育性嚢胞について説明できる。<br>2. 炎症性嚢胞について説明できる。<br>3. 顎骨内に発生する非歯原性嚢胞について説明できる。<br>4. 軟組織に発生する非歯原性嚢胞について説明できる。<br>[E-2-4)-(5)-①]<br><br>事前学修：新口腔病理学p182-195を読み、疑問点を抽出しておくこと。   |
| 講義 | 8/1<br>(火)  | 2 | 泉澤充准教授（口腔顎顔面再建学講座 歯科放射線学分野） | <b>画像診断のまとめ1</b><br>口腔領域の画像診断について修得する。       | 1. 疾患（下記）の画像所見を説明できる。<br>歯原性腫瘍、非歯原性腫瘍、歯原性嚢胞、非歯原性嚢胞、上顎洞疾患、口腔領域の悪性腫瘍、口腔領域の炎症、骨折、唾液腺疾患、顎関節症、骨系統新患<br>[E-2-4)-(2)-①③④、E-2-4)-(5)-①②、<br>E-2-4)-(6)-①②、E-2-4)-(7)-①②、<br>E-2-4)-(8)-②～⑦、E-2-4)-(10)-⑤～⑨]<br><br>事前学修：それぞれの疾患の分類、特徴を理解しまとめておく。   |

|    |             |   |                                    |  |  |
|----|-------------|---|------------------------------------|--|--|
| 講義 | 8/1<br>(火)  | 3 | 山谷元気講師（口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野）         | <b>唾液腺疾患</b><br>唾液腺疾患の症状、診断および治療法を習得する。                          | 1. 唾液腺の炎症性疾患を説明する。<br>2. 唾液腺の腫瘍性疾患を説明する。<br>3. 唾液腺の閉塞性を説明する。<br>[E-2-4)-(8)]<br><br>事前学修：口腔外科学第4版医歯薬出版P376～430を読み、疑問点を抽出しておくこと。  |
| 講義 | 8/29<br>(火) | 1 | 中村友宣助教（歯科保存学講座 う蝕治療学分野）            | <b>齶蝕 歯内療法学3<br/>根尖性歯周炎</b>                                      | 1. 感染根管治療の治療を説明できる。<br>2. 感染根管治療に用いる道具を用意できる。<br>3. 根管治療を説明できる。<br>[E-3-2)、E-3-3)-(2)]<br><br>事前学修：感染根管治療について、講義ノート、実習書を参照。理解ができない場合は、教科書（医歯薬歯内治療学）で確認する。  |
| 講義 | 8/29<br>(火) | 2 | 岸光男教授（口腔医学講座 予防歯科学分野）              | <b>医療関連法規</b><br>医療関連法規を学ぶことで、臨床における歯科医師の役割を理解することができる。          | 1. 医療法を概説できる。<br>2. 医療計画を概説できる。<br>3. 医療機関の種類を列挙できる。<br>4. 歯科医師法を概説できる。<br>[A-7-1)-(2)、B-2-1)-(1)～(3)]<br><br>事前学修：3年時社会と歯学の教科書、資料の該当範囲を通読しておくこと。講義中、適宜課題の呈示と質疑応答を行う。                                      |
| 講義 | 8/29<br>(火) | 7 | 齊藤裕美子助教（補綴・インプラント学講座 補綴・インプラント学分野） | <b>冠橋義歯学2<br/>鋳造法によるクラウン製作</b><br><br>クラウン・ブリッジのワックスアップについて理解する。 | 1. クラウンの鋳造法による製作の特徴を説明できる。<br>2. クラウンのワックスパターン形成を説明できる。<br>[E-3-4)-(1)-(11)]<br><br>アクティブラーニング：ディスカッション方式を取り入れた講義を行う。<br>ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS演習を行うこと。<br>事前学修：クラウン・ブリッジ補綴学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 |
| 講義 | 9/5<br>(火)  | 1 | 山田ありさ助教（薬理学講座 病態制御学分野）             | <b>抗腫瘍薬</b><br>歯科診療を行う上で必要な抗腫瘍薬を理解する。                            | 1. 抗腫瘍薬の作用機序を説明できる。<br>2. 抗腫瘍薬の副作用を説明できる。<br>[C-6-2)-(2)、C-6-4)-(1)]<br><br>事前学修：作用機序と副作用についてまとめておくこと。   |

|    |             |   |  |  |
|----|-------------|---|--|--|
| 講義 | 9/5<br>(火)  | 2 | 佐藤健一教授（口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野）<br><b>歯科麻酔学3<br/>精神鎮静法</b><br><br>精神鎮静法の概念、各種精神鎮静法を学ぶことで歯科治療時における精神鎮静法の必要性が理解できる。             | 1. 精神鎮静法の概念、目的、適応、禁忌、種類、実施法を説明できる。<br>2. 吸入鎮静法を説明できる。<br>3. 静脈内鎮静法を説明できる。<br>4. 静脈内鎮静法の使用薬剤を説明できる。<br>[E-1-(4)-(2)]<br><br>事前学修：到達目標の内容に関し臨床歯科麻酔学第6版（第6章）を用いて調べる。所要時間30分以上。  |
| 講義 | 9/12<br>(火) | 1 | 原田英光教授（解剖学講座 発生生物・再生医学分野）<br><b>顎骨の発生・成長～その破綻による先天性疾患を考える</b><br>＜口腔疾患と全身3＞<br><br>歯と顎骨の正常発生と加齢にともなう変化、異常について説明できるようになる。 | 1. 骨の発生について説明できる。<br>2. 顎骨の発生について説明できる。<br>3. 大理石病、鎖骨頭蓋異形成症などの全身的な症状とともに、顎顔面に異常が見られる疾患やその原因について組織学的知識と連携させて説明できる。<br>[C-3-2)-①、C-3-3)-②、C-3-4)-(2)-④⑤、E-2-3)-①④、E-2-4)-(1)-①、E-2-4)-(10)-⑤⑥]<br><br>事前学修：最新口腔外科学第5版と小児の口腔科学4版を用いて顎骨の形態異常についての疾患を事前に学修しておくこと。 |
| 講義 | 9/12<br>(火) | 2 | 古城慎太郎講師（口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野）<br><b>顎変形症の症状、診断、治療法を習得する。</b>   | 1. 顎変形症の概念と成因について説明する。<br>2. 顎変形症を説明する。<br>3. 顎変形症の治療法を説明する。<br>[E-2-4)-(1)]<br><br>事前学修<br>口腔外科学第3版医歯薬出版P60～63、616～650を読み、疑問点を抽出しておくこと。（30分）  |
| 講義 | 9/12<br>(火) | 3 | 武本真治教授（医療工学講座）<br><b>合着・接着用材料</b><br><br>歯科用合着・接着用材料の種類、成分、硬化機構および性質について学ぶ。  | 1. 歯科用合着材の種類、成分、特徴を説明できる。<br>2. 歯科用接着材の種類、成分、特徴を説明できる。<br>3. 直接修復のためのボンディングシステムの成分を説明できる。<br>4. 合着、接着操作の手順を説明できる。<br>[D-2-⑦]<br><br>事前学修：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。講義中随時知識確認のための質問とフィードバックを行う。                               |

|    |              |   |                              |  |   |
|----|--------------|---|------------------------------|--|---|
| 講義 | 9/12<br>(火)  | 7 | 角保徳センター長<br>(歯科口腔先進医療開発センター) | 特別講義<br>超高齢社会の将来と歯科医療の将来展望   | 1. 超高齢社会における歯科医療について説明できる。  |
| 講義 | 9/19<br>(火)  | 1 | 中村友宣助教 (歯科保存学講座 う蝕治療学分野)     | 齶蝕 歯内療法学4<br>根管形成  | 1. 根管切削器具ISO規格が説明できる。<br>2. 根管治療時の根管切削器具操作法を説明できる。<br>3. 根管充填が説明できる。<br>[E-3-2)、E-3-3)-(2)]<br><br>事前学修：根管形成について、講義ノート、実習書を参照。理解ができない場合は、教科書 (医歯薬歯内治療学) で確認する。  |
| 講義 | 9/19<br>(火)  | 2 | 帖佐直幸准教授 (生化学講座 細胞情報科学分野)     | 炎症の生化学<br>炎症を調節する細胞や分子の作用を理解する。  | 1. 炎症関連細胞を列挙し、それらの働きについて説明できる<br>2. 代表的なケミカルメディエーターを列挙し、その作用を説明できる。<br>3. アラキドン酸カスケードを説明できる。<br>[C-2-1)-①③、C-5-5)-①②]<br><br>事前学修：到達目標の内容に関し教科書で調べて講義に臨むこと。   |
| 講義 | 9/19<br>(火)  | 3 | 鈴木啓太助教 (歯科保存学講座 歯周療法学分野)     | 歯周基本治療 (要点3)<br>プラークコントロール、スクレーピング、ルートプレーニング、咬合調整、暫間固定等を復習し、歯周基本治療を理解する。 | 1. 歯周領域に求められる学力の水準を説明できる。<br>2. 歯周領域の演習問題を概説できる。<br>3. 歯周領域の要点を説明できる<br>[E-3-2)-①③④、E-3-3)-(3)-①～③]<br><br>事前学修：ザ・ペリオドントロジー3版、臨床歯周病学3版で復習しておく。  |
| 講義 | 10/17<br>(火) | 1 | 入江太郎教授 (病理学講座 病態解析学分野)       | 歯原性腫瘍と非歯原性腫瘍   | 1. 良性歯原性腫瘍について説明できる。<br>2. 悪性歯原性腫瘍について説明できる。<br>3. 線維性病変について説明できる。<br>4. 骨形成性病変について説明できる。<br>5. 軟骨形成性病変について説明できる。<br>6. 巨細胞性病変について説明できる。<br>7. 円形細胞腫瘍について説明できる。<br>[E-2-4)-(6)-②③④]<br><br>事前学修：新口腔病理学p196-233を読み、疑問点を抽出しておくこと。 |

|    |              |   |                             |   |   |
|----|--------------|---|-----------------------------|---|---|
| 講義 | 10/17<br>(火) | 2 | 泉澤充准教授（口腔顎顔面再建学講座 歯科放射線学分野） | <b>画像診断のまとめ2</b><br>口腔領域の画像診断について修得する。  | 1. 疾患（下記）の画像所見を説明できる。<br>歯原性腫瘍、非歯原性腫瘍、歯原性嚢胞、非歯原性嚢胞、上顎洞疾患、口腔領域の悪性腫瘍、口腔領域の炎症、骨折、唾液腺疾患、顎関節症、骨系統新患<br>[E-2-4)-(2)-①③④、E-2-4)-(5)-①②、E-2-4)-(6)-①②、E-2-4)-(7)-①②、E-2-4)-(8)-②～⑦、E-2-4)-(10)-⑤～⑨]<br><br>事前学修：それぞれの疾患の分類、特徴を理解しまとめておく。      |
| 講義 | 10/17<br>(火) | 3 | 東兼司助教（歯科保存学講座 う蝕治療学分野）      | <b>齶蝕 保存修復学3<br/>接着</b>   | 1. 接着技法について説明できる。<br>2. 症例に応じた修復法、接着技法を説明できる。<br>[E-3-3)-(1)-②⑤、E-5-1)-⑦]<br><br>事前学修：コンポジットレジン修復について、講義ノート、実習書を参照。理解ができない場合は、教科書（医歯薬保存修復学）にて確認する。  |
| 講義 | 10/24<br>(火) | 1 | 原田英光教授（解剖学講座 発生生物・再生医学分野）   | <b>発生からみた歯の構造の正常と異常 I</b><br><br>歯の構造についてそれぞれの成因から説明できるようになる。<br>歯の先天性疾患について説明できるようになる。 | 1. 歯胚を構成する組織と形成細胞の分化・基質形成過程について説明できる。<br>2. 歯の発生の過程について説明できる<br>3. 歯の数や歯冠の形態などの遺伝子疾患に関わる病因について説明できる。<br>[E-2-3)-①、E-2-4)-(1)-①、E-2-4)-(10)-⑤、E-3-1)-①、E-3-2)-①、E-4-2)-①]<br><br>事前学修：歯の異常に関連した疾患について事前に小児の口腔科学4版を用いて学修して疑問点を抽出しておくこと。 |
| 講義 | 10/24<br>(火) | 2 | 帖佐直幸准教授（生化学講座 細胞情報科学分野）     | <b>骨の生化学</b><br><br>骨リモデリングのメカニズムについて理解する。  | 1. 骨吸収因子による骨芽細胞を介した破骨細胞の分化と成熟について説明できる。<br>2. 破骨細胞による骨吸収を分子レベルで説明できる。<br>3. 骨形成や骨吸収と体内カルシウム動態との関連性について理解する。<br>[E-2-2)-⑤⑥]<br><br>事前学修：到達目標の内容に関し教科書で調べて講義に臨むこと。  |

|    |              |   |                                  |  |  |
|----|--------------|---|----------------------------------|--|--|
| 講義 | 10/24<br>(火) | 3 | 山田浩之教授（口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野）       | <b>歯原性腫瘍</b><br>歯原性腫瘍の症状、診断、治療法を習得する。  | 1. 口腔領域に発症する歯原性腫瘍を列挙し、その特徴について説明する。<br>2. 口腔領域に発症する歯原性腫瘍の症状、治療法について説明する。<br>[E-2-4)-(6)]<br><br>事前学修：口腔外科学第3版医歯薬出版P199～226を読み、疑問点を抽出しておくこと。（30分）   |
| 講義 | 10/31<br>(火) | 1 | 入江太郎教授（病理学講座 病態解析学分野）            | <b>唾液腺の非腫瘍性病変と唾液腺腫瘍</b>  | 1. 唾液腺の発育異常について説明できる。<br>2. 唾液腺の退行性・進行性病変について説明できる。<br>3. 唾石症・唾液腺の嚢胞について説明できる。<br>4. 唾液腺の炎症性疾患について説明できる。<br>5. 唾液腺の自己免疫疾患について説明できる。<br>6. 唾液腺の良性上皮性腫瘍について説明できる。<br>7. 唾液腺の悪性上皮性腫瘍について説明できる。<br>8. 唾液腺の非上皮性腫瘍について説明できる。<br>[E-2-4)-(8)-①～⑦]<br><br>事前学修：新口腔病理学p257-282を読み、疑問点を抽出しておくこと。 |
| 講義 | 10/31<br>(火) | 2 | 滝沢尚希助教（歯科保存学講座 歯周療法学分野）          | <b>メンテナンス, SPT (要点4)</b><br>歯周治療における再評価項目内容を復習し, 定期管理 (メンテナンス, SPT) の必要性を理解する。 | 1. 歯周領域に求められる学力の水準を説明できる。<br>2. 歯周領域の演習問題を概説できる。<br>3. 歯周領域の要点を説明できる。<br>[E-3-2)-①③④、E-3-3)-(3)-①～③]<br><br>事前学修：ザ・ペリオドントロジー3版、臨床歯周病学3版で復習しておく。  |
| 講義 | 10/31<br>(火) | 3 | 橋口大輔助教（口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野） | <b>小児歯科学3 咬合誘導 (保隙処置)</b><br>保隙の適応と処置法について理解する。                                | 年齢や欠損状態に応じた保隙装置の選択ができる。<br>[E-4-2)-⑨]<br><br>事前学修：静的咬合誘導法について教科書に目を通して講義に臨むこと。<br>アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。  |

|    |              |   |                                    |  |  |
|----|--------------|---|------------------------------------|--|--|
| 講義 | 10/31<br>(火) | 4 | 石河太知教授 (微生物学講座 分子微生物学分野)           | <b>微生物学各論</b><br>病原微生物による感染症およびその病原因子について理解する。                   | 1. 感染の概念と感染症について説明できる。<br>2. 病原微生物による感染症・病原因子について説明できる。<br>[C-3-1)-①②、E-2-4)-(3)-①、E-2-4)-(9)-②]<br><br>事前学修：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学修しておくこと。   |
| 講義 | 10/31<br>(火) | 6 | 佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)         | <b>矯正歯科学3</b><br><b>矯正治療における抜歯</b>                               | 1. 矯正治療における抜歯の目的について説明できる。<br>2. Tweedの抜歯基準について説明できる。<br>3. Tooth size ratioについて説明できる。<br>4. 矯正治療における固定について説明できる。<br>[E-4-1-③]<br><br>事前学修：歯科矯正学p175～181を読み、疑問点を抽出しておくこと。                                      |
| 講義 | 11/7<br>(火)  | 2 | 田邊憲昌教授 (補綴・インプラント学講座 補綴・インプラント学分野) | <b>冠橋義歯学3</b><br><b>クラウン・ブリッジの接着</b><br><br>クラウン・ブリッジ接着について理解する。 | 1. クラウン・ブリッジ補綴に使用する材料と表面処理について理解する。<br>2. セメントの種類と特徴を理解する。<br>[E-3-4)-(1)-⑪]<br><br>アクティブラーニング：ディスカッション方式を取り入れた講義を行う。<br>ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS演習を行うこと。<br><br>事前学修：クラウン・ブリッジ補綴学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 |
| 講義 | 11/7<br>(火)  | 3 | 菊池和子講師 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)  | <b>障がい者歯科 2</b><br><b>症候群復習 1</b>                                | 1. 口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を説明できる。<br>2. 系統的骨疾患の症状を説明できる。<br>[E-2-4)-(10)-⑤⑥]<br><br>事前学修：4年の講義ノートと教科書に目を通して講義に臨むこと。  |

|    |              |   |  |  |
|----|--------------|---|--|--|
| 講義 | 11/7<br>(火)  | 4 | 岸光男教授（口腔医学講座 予防歯科学分野）<br><b>地域保健総論</b><br>地域保健の基本概念と根幹となる法規を学ぶことで地域保健の意義を理解することができる。             | 1. プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションの違いを説明できる。<br>2. 保健所の業務を列挙できる。<br>3. 健康増進法を概説できる。<br>4. 地域保健法を概説できる。<br>[A-7-1)-④、B-2-2)-①、B-3-1)-①～④]<br><br>事前学修：3年時社会と歯学の教科書、資料の該当範囲を通読しておくこと。講義中、適宜課題の呈示と質疑応答を行う。  |
| 講義 | 11/7<br>(火)  | 5 | 黒瀬雅之教授（生理学講座 病態生理学分野）<br><b>呼吸機能と呼吸器疾患</b><br>全身疾患の中で、呼吸器の機能と病態を学び、他職種連携や在宅での診療を視野に有病者の状態を理解出来る。 | 1. 呼吸器の解剖を説明できる。<br>2. 呼気と吸気を説明出来る。<br>3. ガス交換について説明出来る。<br>4. 呼吸器疾患の種類について説明出来る。<br>5. COPDの特徴を説明出来る。<br>[C-3-4)-(8)-①②, E-1-3)③④⑤, E-6)]<br><br>事前学修：該当箇所について、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。  |
| 講義 | 11/7<br>(火)  | 6 | 藤原尚樹教授（解剖学講座 機能形態学分野）<br><b>唾液腺の構造と支配神経</b><br>大唾液腺の位置と支配神経を理解する。                                | 1. 大唾液腺の位置と付近にある解剖学的構造について説明できる。<br>2. 唾液腺の分泌を調節する支配神経について説明できる。<br>3. 唾液腺の支配神経の走行と障害を関連づけて説明できる。<br><br>配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。<br><br>[E-2-2)-⑥]<br>事前学修：唾液腺の解剖学的特徴についてまとめておくこと。DESSに提示する歯科医師国家試験の過去問から関連領域の問題を解き、必要な知識をまとめておくこと。 |
| 講義 | 11/14<br>(火) | 2 | 帖佐直幸准教授（生化学講座 細胞情報科学分野）<br><b>癌の生化学</b><br>発癌、転移・浸潤のメカニズムについて理解する。                               | 1. 癌遺伝子や癌抑制遺伝子の機能を説明できる。<br>2. 癌の悪性化と多段階発癌を説明できる。<br>3. 癌の転移や浸潤のメカニズムについて説明できる。<br>[C-5-6)-①、②]<br><br>事前学修：到達目標の内容に関し教科書で調べて講義に臨むこと。  |

|    |              |   |                                    |  |  |
|----|--------------|---|------------------------------------|--|--|
| 講義 | 11/14<br>(火) | 3 | 大橋祐生講師（口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野）         | <b>悪性腫瘍</b><br>顎口腔領域に発生する悪性腫瘍に関する知識を習得する。    | 1. 顎口腔領域の悪性腫瘍の臨床症状を説明する。<br>2. 顎口腔領域の悪性腫瘍の治療、予後について説明する。<br>[E-2-4)-(6)]<br><br>事前学修：口腔外科学第3版医歯薬出版P250～296、660～716を読み、疑問点を抽出しておくこと。  |
| 講義 | 11/14<br>(火) | 4 | 泉澤充准教授（口腔顎顔面再建学講座 歯科放射線学分野）        | <b>画像診断のまとめ3</b><br>口腔領域の画像診断について修得する。       | 1. 疾患（下記）の画像所見を説明できる。<br>歯原性腫瘍、非歯原性腫瘍、歯原性嚢胞、非歯原性嚢胞、上顎洞疾患、口腔領域の悪性腫瘍、口腔領域の炎症、骨折、唾液腺疾患、顎関節症、骨系統疾患<br>[E-2-4)-(2)-①③④、E-2-4)-(5)-①②、E-2-4)-(6)-①②、E-2-4)-(7)-①②、E-2-4)-(8)-②～⑦、E-2-4)-(10)-⑤～⑨]<br><br>事前学習：それぞれの疾患の分類、特徴を理解しまとめておく。 |
| 講義 | 11/14<br>(火) | 5 | 大畑光彦准教授（麻醉学講座）                     | <b>和漢薬・特別講義</b><br>歯科診療で用いることができる和漢薬を理解する。   | 1. 歯科診療で用いることのできる和漢薬を説明できる。<br>2. 高齢者および有病者の疾患に応じた和漢薬を選択できる。   |
| 講義 | 11/21<br>(火) | 1 | 深澤翔太准教授（補綴・インプラント学講座 補綴・インプラント学分野） | <b>有床義歯学3</b><br>床義歯製作に必要な口腔の解剖と精密印象採得を理解する。 | 1. 義歯製作に必要な解剖学的ラウンドマークと圧負担域を説明出来る。<br>2. 筋圧形成に係わる筋を説明出来る。<br>3. 精密印象の目的と方法および手順を説明出来る。<br>[E-3-4)-(2)-⑤⑥⑪⑫]<br><br>事前学修：義歯製作における精密印象採得について、4年次の有床義歯補綴学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。   |

|    |              |   |  |  |   |
|----|--------------|---|--|--|---|
| 講義 | 11/21<br>(火) | 2 | 小林琢也教授<br>(補綴・インプラント学講座 摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野) | <b>摂食嚥下リハビリテーション②</b><br><br>摂食嚥下障害に対する口腔衛生管理と治療法を理解する。                  | 1. 高齢者の口腔健康管理について説明できる。<br>2. 摂食嚥下障害患者に対する口腔衛生管理を説明できる。<br>3. 摂食嚥下障害患者に対する姿勢調整を説明できる。<br>4. 摂食嚥下障害患者に対する食事介助を説明できる<br>5. 摂食嚥下障害患者に対する食形態の調整を説明できる。<br>[E-2-4)-(11)-②、E-5-1)-④⑤]<br><br>事前学修：老年歯科医学 p 212～357、歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 p 182～195、p 196～212を読み、疑問点を500字程度にまとめ発表できるようにしておくこと。 |
| 講義 | 11/21<br>(火) | 3 | 千葉俊美教授 (口腔医学講座 関連医学分野)                       | <b>内科学 I<br/>循環器疾患、悪性新生物・呼吸器疾患</b><br><br>代表的な循環器疾患、悪性新生物、呼吸器疾患について理解する。 | 1. 代表的な循環器疾患、悪性新生物、呼吸器疾患について理解し説明できる。<br>[E-6-②]<br><br>事前学修：講義に関する内容を講義資料および教科書で確認し講義に臨むこと。<br>事後学修：講義に関する内容をまとめること。   |
| 講義 | 11/21<br>(火) | 4 | 三浦利貴助教 (微生物学講座 分子微生物学分野)                     | <b>ウイルス学</b><br><br>ウイルスの性状と感染経路、標的器官および感染症を理解する。                        | 1. 主要な病原性ウイルスの性状・感染経路・標的器官および感染症を説明できる。<br>[C-3-1]-①②、E-2-4)-(9)-②]<br><br>事前学修：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学修しておくこと。   |
| 講義 | 11/28<br>(火) | 1 | 田村晴希講師 (薬理学講座 病態制御学分野)                       | <b>抗菌薬</b><br><br>歯科診療を行う上で必要な抗菌薬を理解する。                                  | 1. 抗菌薬の分類、作用機序と副作用を説明できる。<br>2. 適切な抗菌薬の使用を説明できる。<br>[C-6-2)-②、C-6-4)-①②]<br><br>事前学修課題：抗菌薬の分類、作用機序と副作用についてまとめておくこと。   |

|    |              |   |                                   |  |  |
|----|--------------|---|-----------------------------------|--|--|
| 講義 | 11/28<br>(火) | 2 | 小川淳准教授（口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野）        | <b>炎症</b><br>炎症の概念を理解し、歯性感染症に関する知識を習得する。                         | 1. 顎口腔の炎症の症状、診断法、治療法を説明する。<br>2. 歯性感染症の概念と感染経路を説明する。<br>3. 顎骨骨髓炎の症状、経過、治療法について説明する。<br>[E-2-4)-(3)]<br><br>事前学修：口腔外科学第3版医歯薬出版P125～162を読み、疑問点を抽出しておくこと。（30分）                                |
| 講義 | 11/28<br>(火) | 3 | 橋口大輔助教（口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野）  | <b>小児歯科学4<br/>小児の歯髄処置</b><br>乳歯および幼若永久歯に適切な歯内療法を行うための基本的事項を理解する。 | 症状やエックス線画像から、診断を行い、それにふさわしい処置法を選択できる。<br>[E-4-2)-(④, ⑤)]<br><br>事前学修：小児の歯内療法について教科書に目を通して講義に臨むこと。<br>アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。   |
| 講義 | 11/28<br>(火) | 4 | 佐藤和朗教授（口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野）         | <b>歯科矯正学4<br/>矯正治療のフォースシステム</b>                                  | 1. 矯正力の4Dについて説明できる。<br>2. 矯正力と顎整形力について説明できる。<br>3. マルチブラケット装置における矯正力について説明できる。<br>[E-4-1)-(④⑤⑥)]<br><br>事前学修：歯科矯正学p225～237を読み、疑問点を抽出しておくこと。  |
| 講義 | 11/28<br>(火) | 5 | 塚谷顕介助教（補綴・インプラント学講座 補綴・インプラント学分野） | <b>冠橋義歯学4</b><br>CAD/CAM冠と光学印象<br>CAD/CAM冠と光学印象について理解する。         | 1. CAD/CAM冠の製作法を理解する。<br>2. 光学印象を理解する。<br>[E-3-4)-(1)-(①～⑬)]<br><br>アクティブラーニング：ディスカッション方式を取り入れた講義を行う。<br>ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS演習を行うこと。<br>事前学修：クラウン・ブリッジ補綴学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 |

|    |              |   |                                     |  |   |
|----|--------------|---|-------------------------------------|--|---|
| 講義 | 11/28<br>(火) | 6 | 澤田智史准教授 (医療工学講座)                    | <b>義歯用材料</b><br>歯科臨床に応用する義歯用材料について学ぶ。  | 1. 歯科臨床における義歯用材料の選択基準を説明できる。<br>2. 義歯用材料の種類を説明できる。<br>3. 義歯用材料の成分および性質を説明できる。<br>4. 義歯用材料の取り扱い上の注意点を説明できる。<br>[D-1-②、D-2-②]<br><br>事前学修：2・3年次に使用した教科書 (スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。<br>WebClassに掲載の講義要旨の空欄を講義開始までに補充する。 |
| 講義 | 12/5<br>(火)  | 1 | 大津圭史准教授 (解剖学講座 発生生物・再生医学分野)         | <b>発生からみた歯周組織の構造の正常と異常</b><br>歯の構造についてそれぞれの成因から説明できるようになる。歯の先天性疾患について説明できるようになる。 | 1. 歯周組織を構成する組織と形成細胞の分化・基質形成過程について説明できる。<br>2. 歯根の発生と歯根の形態異常について説明できる。<br>3. 歯周組織に関わる疾患に関わる病因について説明できる。<br>[E-2-3)-①、E-2-4)-(1)-①、E-2-4)-(10)-⑤、E-3-1)-①、E-3-2)-①、E-4-2)-①]<br><br>事前学修：歯の異常に関連した疾患について事前に小児の口腔科学4版を用いて学修して疑問点を抽出しておくこと。 |
| 講義 | 12/5<br>(火)  | 2 | 齊藤桂子助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)   | <b>小児歯科学5 全身疾患を有する小児の治療</b><br>全身疾患を持つ小児の歯科治療について理解する。                           | 1. 全身疾患を持つ小児の口腔内について述べることができる。<br>2. 小児科との係わり方を述べることができる。<br>[E-2-4)-(1)-①]<br><br>事前学修：全身疾患を有する小児の治療について教科書に目を通して講義に臨むこと。<br>アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。   |
| 講義 | 12/5<br>(火)  | 3 | 深澤翔太准教授 (補綴・インプラント学講座 補綴・インプラント学分野) | <b>有床義歯学4</b><br>有床義歯領域に必要な知識を習得することができる。  | 1. 有床義歯の知識を再確認し、基本的な内容について説明できる。<br>2. 義歯の製作術式を説明できる。<br>[E-3-4)-(2)-①～⑭]<br><br>事前学修：義歯製作における精密印象採得について、4年次の有床義歯補綴学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。  |

|    |              |   |                            |  |  |
|----|--------------|---|----------------------------|--|--|
| 講義 | 12/5<br>(火)  | 4 | 佐藤健一教授（口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野） | <b>歯科麻酔学4</b><br>全身麻酔の理論、気道確保法を学ぶことで全身麻酔を理解することができる。                     | 1. 全身麻酔の理論を説明できる。<br>2. 吸入麻酔法を説明できる。<br>3. 麻酔導入法・麻酔維持・麻酔の覚醒を説明できる。<br>4. 全身麻酔における気道確保法を説明できる。<br>[E-1-4)-(4)]<br><br>事前学修：到達目標の内容に関し臨床歯科麻酔学第6版（第7、8章）を用いて調べる。所要時間30分以上。            |
| 講義 | 12/5<br>(火)  | 5 | 黒瀬雅之教授（生理学講座 病態生理学分野）      | <b>消化機能と消化器疾患</b><br>全身疾患の中で、消化器官の機能と病態を学び、他職種連携や在宅での診療を視野に有病者の状態を理解出来る。 | 1. 消化管運動の働きを説明できる。<br>2. 小腸粘膜の消化作用を説明できる。<br>3. 小腸での吸収を説明できる。<br>4. 大腸での吸収を説明できる。<br>5. 排便の機構を説明できる。<br>[C-3-4)-(7), E-1-3)③④⑤, E-6)]<br><br>事前学修：該当箇所について、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 |
| 講義 | 12/5<br>(火)  | 6 | 千葉俊美教授（口腔医学講座 関連医学分野）      | <b>内科学Ⅱ<br/>消化器疾患、代謝・内分泌、血液疾患</b><br>代表的な消化器疾患、代謝・内分泌、血液疾患について理解する。      | 1. 代表的な消化器疾患、代謝・内分泌、血液疾患について理解し説明できる。<br>[E-6-②]<br><br>事前学修：講義に関する内容を講義資料および教科書で確認し講義に臨むこと。<br>事後学修：講義に関する内容をまとめること。  |
| 講義 | 12/12<br>(火) | 1 | 佐藤泰生講師（病理学講座 病態解析学分野）      | <b>全身性疾患と口腔病変</b>  | 1. ウイルス感染症について説明できる。<br>2. 細菌性感染症について説明できる。<br>3. 内分泌代謝障害について説明できる。<br>4. 栄養障害について説明できる。<br>[E-2-4)-(10)-②⑧⑨、E-6-②]<br><br>事前学修：新口腔病理学p312-330を読み、疑問点を抽出しておくこと。                    |

|    |              |   |                                    |  |   |
|----|--------------|---|------------------------------------|--|---|
| 講義 | 12/12<br>(火) | 2 | 今一裕准教授 (補綴・インプラント学講座 補綴・インプラント学分野) | 口腔インプラント学2<br>インプラント補綴について治療の流れを理解する。                              | 1. インプラント治療における補綴処置の流れを説明できる。<br>2. インプラント補綴に必要な器具、材料を列挙できる。<br>3. 口腔内スキャナーの活用法について説明できる。<br>[E-3-4)-(3)-⑥]<br><br>事前学修：4年次に使用した教科書、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 |
| 講義 | 12/12<br>(火) | 3 | 佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)         | 歯科矯正学5<br>矯正装置   | 1. 可撤/固定式矯正装置について説明できる。<br>2. 各種矯正装置の適用症について説明できる。<br>3. 各種矯正装置の効果について説明できる。<br>[E-4-1-⑤⑥⑦]<br><br>事前学修：歯科矯正学p215～262を読み、疑問点を抽出しておくこと。                      |
| 講義 | 12/12<br>(火) | 4 | 菊池和子講師 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)  | 障がい者歯科3<br>症候群復習2  | 1. 口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を説明できる。<br>2. 系統的骨疾患の症状を説明できる。<br>[E-2-4)-(10)-⑤⑥]<br><br>事前学修：4年の講義ノートと教科書に目を通して講義に臨むこと。   |
| 講義 | 12/12<br>(火) | 5 | 岸光男教授 (口腔医学講座 予防歯科学分野)             | 地域保健各論<br>異なる対象集団に対する保健介入方法を学ぶことで、地域保健に関する応用性を身につけることができる。         | 1. 母子保健を概説できる。<br>2. 学校保健を概説できる。<br>3. 産業保健を概説できる。<br>[A-7-1)-①③、B-2-2)-①]<br><br>事前学修：3年時社会と歯学の教科書、資料の該当範囲を通読しておくこと。講義中、適宜課題の呈示と質疑応答を行う。                   |
| 講義 | 12/12<br>(火) | 6 | James Hobbs 教授 (外国語学科英語分野)         | Chair side conversation 3<br>英語圏の患者に対し歯科治療を行う際に必要なコミュニケーション力を習得する。 | 1. 英語で問診ができる。<br>2. 英語で治療内容を説明できる。<br>3. 英語で患者と必要なコミュニケーションが取れる。<br>[A-7-2)-①]<br><br>事前学修：Chair side conversation 2の講義資料を復習しておく。                           |

|    |              |   |                                   |   |  |
|----|--------------|---|-----------------------------------|---|--|
| 講義 | 12/19<br>(火) | 1 | 佐藤宏明助教（補綴・インプラント学講座 補綴・インプラント学分野） | 有床義歯学5<br>床義歯製作に必要な埋没・重合・研磨の方法を理解する。                                      | 1. 床義歯の埋没・重合・研磨の方法を説明出来る。<br>2. 埋没・重合・研磨の手順を説明出来る。<br>[E-3-4)-(2)-⑪、⑫]<br><br>事前学修：義歯製作における精密印象採得について、4年次の有床義歯補綴学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。                    |
| 講義 | 12/19<br>(火) | 2 | 中村友宣助教（歯科保存学講座 う蝕治療学分野）           | 齶蝕 歯内療法学5<br>偶発症、外科的歯内療法  | 1. 偶発症を説明できる。<br>2. 外科的歯内療法の術式を説明できる。<br>[E-3-2)、E-3-3)-(2)]<br><br>事前学修：歯髄炎について、講義ノート、実習書を参照。理解ができない場合は、教科書（医歯薬歯内治療学）にて確認する。                                    |
| 講義 | 12/19<br>(火) | 3 | 東兼司助教（歯科保存学講座 う蝕治療学分野）            | 齶蝕 保存修復学4<br>間接修復（インレー）   | 1. メタルインレー修復の手順について説明できる。<br>2. 窩洞形成法について説明できる。<br>3. 症例に応じた修復法、接着技法を説明できる。<br>[E-3-3)-(1)-②⑤、E-5-1)-⑦]<br><br>事前学修：講義ノート、実習書を参照。理解ができない場合は、教科書（医歯薬保存修復学）にて確認する。 |
| 講義 | 12/19<br>(火) | 5 | James Hobbs<br>教授<br>(外国語学科英語分野)  | Chair side<br>conversation 4<br><br>英語圏の患者に対し歯科治療を行う際に必要なコミュニケーション力を習得する。 | 1. 英語で問診ができる。<br>2. 英語で治療内容を説明できる。<br>3. 英語で患者と必要なコミュニケーションが取れる。<br>[A-7-2)-①]<br><br>事前学修：Chair side conversation 3の講義資料を復習しておく。                                |

|    |              |   |   |   |   |
|----|--------------|---|---|---|---|
| 講義 | 12/19<br>(火) | 6 | 熊谷章子准教授 (法科学講座 法歯学・災害口腔医学分野)              | <b>ヒトの死</b><br>終末期医療、死亡診断、死因究明・身元調査制度について理解できる。         | 1. 緩和医療と終末期医療について説明できる。<br>2. アドバンスケアプランニングの意義を説明できる。<br>3. 在宅医療における看取りについて説明できる。<br>4. 死亡診断ができる。<br>5. 死亡診断と死体検案の違いを説明できる。<br>6. 日本の死因究明・身元調査制度と歯科医師の関わりについて説明できる。<br>[A-1-1)-②③、A-1-2)-①②③④、A-4-2)-①③、A-5-1)-②③⑦、C-5-7)-①]<br>事前学修：法歯科医学p6-16を読み、疑問点を抽出しておくこと（所要時間30分以上）。<br>事後学修：講義で習得した基本的事項をまとめること（所要時間30分以上）。 |
| 講義 | 1/9<br>(火)   | 1 | 藤原尚樹教授 (解剖学講座 機能形態学分野)                    | <b>嚥下と筋</b><br>頬、舌、口蓋帆の筋の走行とそれぞれの関係性や機能から、嚥下を解剖学的に理解する。 | 1. 舌骨上筋群と舌骨下筋群の構成と神経支配を説明できる。<br>2. バクシネータメカニズムについて説明できる。<br>3. 舌筋の種類と機能を説明できる。<br>4. 口蓋帆の筋の機能と支配神経を説明できる。<br>5. 嚥下のステージと関与する筋群の関連を説明できる。<br>[E-2-1]-⑨、⑩]<br><br>配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。<br><br>事前学修：嚥下の各ステージと筋肉の関係をまとめておくこと。DESSに提示する歯科医師国家試験の過去問から関連領域の問題を解き、必要な知識をまとめておくこと。                                   |
| 講義 | 1/9<br>(火)   | 2 | 小林琢也教授 (補綴・インプラント学講座 摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野) | <b>摂食嚥下リハビリテーション③</b><br>摂食嚥下障害を持つ患者への対応を理解する。          | 1. 摂食嚥下障害に対する対応について説明できる。<br>2. 多職種連携による様々な対応について説明できる。<br>[E-5-1)-⑤⑥⑦、G-4-①②③]<br><br>事前学修：老年歯科医学 p 353～372、歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 p 214～233 老年歯科医学 p 262～298を読み、疑問点をまとめておくこと。  |

|    |            |   |                            |   |   |
|----|------------|---|----------------------------|---|---|
| 講義 | 1/9<br>(火) | 3 | 佐藤健一教授（口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野） | <b>歯科麻酔学5</b><br>顎口腔領域の疼痛性および麻痺性疾患を学ぶことで疼痛管理の重要性を理解することができる。        | 1. 顎顔面口腔領域の疼痛及び麻痺性疾患を説明できる。<br>2. 三叉神経痛の概念、症状及び治療法を説明できる。<br>3. 顔面神経麻痺の概念、症状及び治療法を説明できる。<br>4. 星状神経節ブロックの適応、方法及び合併症を説明できる。<br><b>[E-1-4)-(3)]</b><br><br>事前学修：到達目標の内容に関し臨床歯科麻酔学第6版（第14、15章）を用いて調べる。所要時間30分以上。 |
| 講義 | 1/9<br>(火) | 4 | 岸光男教授（口腔医学講座 予防歯科学分野）      | <b>社会保障</b><br>社会保障制度を理解することで適切な保険診療を提供することができる。                    | 1. 社会保障の分類を列挙できる。<br>2. 医療保険制度を概説できる。<br>3. 公費医療制度を列挙できる。<br><b>[B-2-2)-①～⑤]</b><br><br>事前学修：3年時社会と歯学の教科書、資料の該当範囲を通読しておくこと。講義中、適宜課題の呈示と質疑応答を行う。   |
| 講義 | 1/9<br>(火) | 5 | 黒瀬雅之教授（生理学講座 病態生理学分野）      | <b>腎機能と腎疾患</b><br>全身疾患の中で、腎臓の機能と病態を学び、他職種連携や在宅での診療を視野に有病者の状態を理解出来る。 | 1. 腎臓の濾過機能を説明できる。<br>2. 腎不全の病態を説明できる。<br>3. 腎不全の症状を説明できる。<br><b>[C-3-4)-(10)-①②③, E-1-3)③④⑤, E-6)]</b><br><br>事前学修：該当箇所について、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。   |
| 講義 | 1/9<br>(火) | 6 | 千葉俊美教授（口腔医学講座 関連医学分野）      | <b>内科学Ⅲ<br/>腎疾患、精神疾患</b><br>代表的な腎疾患、精神疾患について理解する。                   | 1. 代表的な腎疾患、精神疾患について理解し説明できる。<br><b>[E-6-②]</b><br><br>事前学修：講義に関する内容を講義資料および教科書で確認し講義に臨むこと。<br>事後学修：講義に関する内容をまとめること。   |

|    |             |   |                                   |  |  |
|----|-------------|---|-----------------------------------|--|--|
| 講義 | 1/16<br>(火) | 1 | 藤原尚樹教授（解剖学講座 機能形態学分野）             | <b>顎関節と咀嚼筋の解剖</b><br>顎関節の形態を咀嚼様式から理解する。  | 1. ヒトの顎関節の特徴を説明できる。<br>2. 咀嚼筋の起始停止部位に基づいた機能について説明できる。<br>3. 顎運動と咀嚼筋との関連を説明できる。<br>[E-2-1)-⑥]<br><br>配布資料に書き込みながら、演習形式で要点をまとめる。<br><br>事前学修：顎関節の構造、咀嚼筋の起始・停止、下顎限界運動についてまとめておくこと。DESSに提示する歯科医師国家試験の過去問から関連領域の問題を解き、必要な知識をまとめておくこと。 |
| 講義 | 1/16<br>(火) | 2 | 川井忠講師（口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野）         | <b>顎関節疾患</b><br>顎関節疾患の症状、診断、治療法を習得する。  | 1. 顎関節症の概念と成因を説明できる。<br>2. 顎関節症の分類と治療法を説明できる。<br>3. その他の顎関節疾患を説明できる。<br>[E-2-4)-(7)]<br><br>事前学修：口腔外科学第3版医歯薬出版P327～376を読み疑問点を抽出しておくこと。（30分）  |
| 講義 | 1/16<br>(火) | 3 | 今一裕准教授（補綴・インプラント学講座 補綴・インプラント学分野） | <b>口腔インプラント学3</b><br>インプラントのメンテナンスと合併症について理解する。                                | 1. メンテナンスの重要性と方法を理解する。<br>2. インプラント周囲炎の特徴と治療法を説明できる。<br>[E-3-4)-(3)-⑦]<br><br>事前学修：4年次に使用した教科書、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。   |
| 講義 | 1/16<br>(火) | 4 | 福德暁宏助教（補綴・インプラント学講座 補綴・インプラント学分野） | <b>冠橋義歯学5</b><br><b>クラウン・ブリッジの修理とトラブル対応</b><br><br>クラウン・ブリッジの修理、トラブル対応について理解する | 1. クラウンブリッジの修理とトラブル対応を理解する。<br>2. 修理に使用する機器や材料の <b>特性を理解する。</b><br>[E-3-4)-(1)-①～⑬]<br><br>アクティブラーニング：ディスカッション方式を取り入れた講義を行う。<br>ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS演習を行うこと。<br>事前学修：クラウン・ブリッジ補綴学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。                |

|    |             |   |                                  |  |  |
|----|-------------|---|----------------------------------|--|--|
| 講義 | 1/16<br>(火) | 5 | 東兼司助教（歯科保存学講座 う蝕治療学分野）           | 齶蝕 保存修復学5<br>直接修復(コンポジットレジン修復)   | 1. コンポジットレジン修復の手順について説明できる。<br>[E-3-3)-(1)-②⑤、E-5-1)-⑦]<br><br>事前学修：コンポジットレジン修復について、講義ノート、実習書を参照。理解ができない場合は、教科書（医歯薬保存修復学）にて確認する。   |
| 講義 | 1/16<br>(火) | 6 | 武本真治教授（医療工学講座）                   | 成形修復材-コンポジットレジンを中心に<br><br>レジンに無機質フィラーが配合された複合レジンならびにそれ以外の成形修復材料の構成と特性を理解する。 | 1. 複合レジンの構成、成分を説明できる。<br>2. 成分モノマーの特徴を説明できる。<br>3. 補強材としてのフィラーの種類、特徴を説明できる。<br>4. 間接修復用コンポジットレジンの特徴を説明できる。<br>5. 支台築造材の特徴を説明できる。<br>[D-1-①、D-2-①]<br><br>事前学修：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。<br>WebClassに掲載の講義要旨の空欄を講義開始までに補充する。 |
| 講義 | 1/16<br>(火) | 7 | James Hobbs<br>教授<br>(外国語学科英語分野) | Chair side<br>conversation 5<br><br>英語圏の患者に対し歯科治療を行う際に必要なコミュニケーション力を習得する。    | 1. 英語で問診ができる。<br>2. 英語で治療内容を説明できる。<br>3. 英語で患者と必要なコミュニケーションが取れる。<br>[A-7-2)-①]<br><br>事前学修：Chair side conversation 4の講義資料を復習しておく。  |

## 講義/演習日程表

総合講義（Ⅰ）前期試験解説講義（8月23日～8月25日）

総合講義（Ⅰ）後期試験解説講義（2月2日～2月6日）

| 区分 | 月日<br>(曜)   | 時間     | (担当講座・分野)                | ユニット名               |
|----|-------------|--------|--------------------------|---------------------|
| 講義 | 8/23<br>(水) | 13:00～ | (病理学講座 病態解析学分<br>野)      | 総合講義（Ⅰ）<br>前期試験解説講義 |
| 講義 | 8/23<br>(水) | 13:35～ | (解剖学講座 発生生物・再生<br>医学分野)  | 総合講義（Ⅰ）<br>前期試験解説講義 |
| 講義 | 8/23<br>(水) | 14:10～ | (生理学講座 病態生理学分<br>野)      | 総合講義（Ⅰ）<br>前期試験解説講義 |
| 講義 | 8/23<br>(水) | 14:55～ | (生化学講座 細胞情報科学分<br>野)     | 総合講義（Ⅰ）<br>前期試験解説講義 |
| 講義 | 8/23<br>(水) | 15:30～ | (微生物学講座 分子微生物学<br>分野)    | 総合講義（Ⅰ）<br>前期試験解説講義 |
| 講義 | 8/23<br>(水) | 16:05～ | (薬理学講座 病態制御学分<br>野)      | 総合講義（Ⅰ）<br>前期試験解説講義 |
| 講義 | 8/23<br>(水) | 16:50～ | (医療工学講座)                 | 総合講義（Ⅰ）<br>前期試験解説講義 |
| 講義 | 8/24<br>(木) | 8:40～  | (解剖学講座 機能形態学分<br>野)      | 総合講義（Ⅰ）<br>前期試験解説講義 |
| 講義 | 8/24<br>(木) | 9:15～  | (口腔医学講座 予防歯科学分<br>野)     | 総合講義（Ⅰ）<br>前期試験解説講義 |
| 講義 | 8/24<br>(木) | 10:30～ | (歯科保存学講座 歯周療法学<br>分野)    | 総合講義（Ⅰ）<br>前期試験解説講義 |
| 講義 | 8/24<br>(木) | 11:35～ | (法科学講座 法歯学・災害口<br>腔医学分野) | 総合講義（Ⅰ）<br>前期試験解説講義 |
| 講義 | 8/24<br>(木) | 13:00～ | (歯科保存学講座 う蝕治療学<br>分野)    | 総合講義（Ⅰ）<br>前期試験解説講義 |
| 講義 | 8/24<br>(木) | 13:40～ | (歯科保存学講座 う蝕治療学<br>分野)    | 総合講義（Ⅰ）<br>前期試験解説講義 |
| 講義 | 8/24<br>(木) | 14:30～ | (歯科保存学講座 う蝕治療学<br>分野)    | 総合講義（Ⅰ）<br>前期試験解説講義 |

|    |             |        |   |                      |
|----|-------------|--------|---|----------------------|
| 講義 | 8/24<br>(木) | 14:50~ | (補綴・インプラント学講座<br>摂食嚥下・口腔リハビリテー<br>ション学分野) | 総合講義 (I)<br>前期試験解説講義 |
| 講義 | 8/24<br>(木) | 15:30~ | (口腔医学講座 関連医学分<br>野)                       | 総合講義 (I)<br>前期試験解説講義 |
| 講義 | 8/24<br>(木) | 16:05~ | (補綴・インプラント学講座<br>補綴・インプラント学分野)            | 総合講義 (I)<br>前期試験解説講義 |
| 講義 | 8/25<br>(金) | 8:40~  | (口腔保健育成学講座 歯科矯<br>正学分野)                   | 総合講義 (I)<br>前期試験解説講義 |
| 講義 | 8/25<br>(金) | 9:45~  | (補綴・インプラント学講座<br>補綴・インプラント学分野)            | 総合講義 (I)<br>前期試験解説講義 |
| 講義 | 8/25<br>(金) | 11:00~ | (口腔顎顔面再建学講座 歯科<br>放射線学分野)                 | 総合講義 (I)<br>前期試験解説講義 |
| 講義 | 8/25<br>(金) | 13:00~ | (口腔顎顔面再建学講座 歯科<br>麻酔学分野)                  | 総合講義 (I)<br>前期試験解説講義 |
| 講義 | 8/25<br>(金) | 14:15~ | (口腔保健育成学講座 小児歯<br>科学・障害者歯科学分野)            | 総合講義 (I)<br>前期試験解説講義 |
| 講義 | 8/25<br>(金) | 15:20~ | (口腔保健育成学講座 小児歯<br>科学・障害者歯科学分野)            | 総合講義 (I)<br>前期試験解説講義 |
| 講義 | 8/25<br>(金) | 15:50~ | (口腔顎顔面再建学講座 口腔<br>外科学分野)                  | 総合講義 (I)<br>前期試験解説講義 |

|    |            |        |                         |                      |
|----|------------|--------|-------------------------|----------------------|
| 講義 | 2/2<br>(金) | 13:35~ | (解剖学講座 発生生物・再生<br>医学分野) | 総合講義 (I)<br>後期試験解説講義 |
| 講義 | 2/2<br>(金) | 14:10~ | (生理学講座 病態生理学分<br>野)     | 総合講義 (I)<br>後期試験解説講義 |
| 講義 | 2/2<br>(金) | 14:55~ | (生化学講座 細胞情報科学分<br>野)    | 総合講義 (I)<br>後期試験解説講義 |
| 講義 | 2/2<br>(金) | 15:30~ | (微生物学講座 分子微生物学<br>分野)   | 総合講義 (I)<br>後期試験解説講義 |
| 講義 | 2/2<br>(金) | 16:05~ | (薬理学講座 病態制御学分<br>野)     | 総合講義 (I)<br>後期試験解説講義 |
| 講義 | 2/2<br>(金) | 16:50~ | (医療工学講座)                | 総合講義 (I)<br>後期試験解説講義 |
| 講義 | 2/3<br>(土) | 8:40~  | (病理学講座 病態解析学分<br>野)     | 総合講義 (I)<br>後期試験解説講義 |

|    |            |        |                                    |                      |
|----|------------|--------|------------------------------------|----------------------|
| 講義 | 2/3<br>(土) | 9:15~  | (口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野)               | 総合講義 (I)<br>後期試験解説講義 |
| 講義 | 2/3<br>(土) | 10:55~ | (口腔医学講座 予防歯科学分野)                   | 総合講義 (I)<br>後期試験解説講義 |
| 講義 | 2/3<br>(土) | 12:00~ | (法科学講座 法歯学・災害口腔医学分野)               | 総合講義 (I)<br>後期試験解説講義 |
| 講義 | 2/5<br>(月) | 8:40~  | (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)                | 総合講義 (I)<br>後期試験解説講義 |
| 講義 | 2/5<br>(月) | 9:45~  | (補綴・インプラント学講座 補綴・インプラント学分野)        | 総合講義 (I)<br>後期試験解説講義 |
| 講義 | 2/5<br>(月) | 11:00~ | (口腔顎顔面再建学講座 歯科放射線学分野)              | 総合講義 (I)<br>後期試験解説講義 |
| 講義 | 2/5<br>(月) | 13:00~ | (歯科保存学講座 う蝕治療学分野)                  | 総合講義 (I)<br>後期試験解説講義 |
| 講義 | 2/5<br>(月) | 13:40~ | (歯科保存学講座 う蝕治療学分野)                  | 総合講義 (I)<br>後期試験解説講義 |
| 講義 | 2/5<br>(月) | 14:20~ | (歯科保存学講座 う蝕治療学分野)                  | 総合講義 (I)<br>後期試験解説講義 |
| 講義 | 2/5<br>(月) | 14:50~ | (補綴・インプラント学講座 摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野) | 総合講義 (I)<br>後期試験解説講義 |
| 講義 | 2/5<br>(月) | 15:30~ | (口腔医学講座 関連医学分野)                    | 総合講義 (I)<br>後期試験解説講義 |
| 講義 | 2/5<br>(月) | 16:05~ | (補綴・インプラント学講座 補綴・インプラント学分野)        | 総合講義 (I)<br>後期試験解説講義 |
| 講義 | 2/6<br>(火) | 8:40~  | (歯科保存学講座 歯周療法学分野)                  | 総合講義 (I)<br>後期試験解説講義 |
| 講義 | 2/6<br>(火) | 9:45~  | (口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野)               | 総合講義 (I)<br>後期試験解説講義 |
| 講義 | 2/6<br>(火) | 11:00~ | (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)         | 総合講義 (I)<br>後期試験解説講義 |
| 講義 | 2/6<br>(火) | 12:05~ | (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)         | 総合講義 (I)<br>後期試験解説講義 |
| 講義 | 2/6<br>(火) | 13:25~ | (解剖学講座 機能形態学分野)                    | 総合講義 (I)<br>後期試験解説講義 |

## 2023 年度 5 年 DESS 演習 (必ずお試し演習で予習してから各演習に臨むこと)

### 空き時間利用演習

臨床実地問題：4 月出題 (各正答率 8 割以上で合格)

9 月末までに全て合格すること。(後期総合試験の受験資格、不合格の場合 5 月以降に再演習)

必修・一般問題：5 月出題 (基礎・臨床、各正答率 8 割以上で合格)

翌年 1 月末までに全て合格すること。(後期総合試験の受験資格、不合格の場合 6 月以降に再演習)

講義室演習 (臨床実地および必修問題)：各正答率 8 割以上で合格

翌年 1 月末までに全て合格すること。(後期総合試験の受験資格、不合格の場合再演習)

(網掛けは臨床実地問題)

| 実施日           | 出題数  | 臨床実地および必修 (基礎・臨床) |            |           |
|---------------|------|-------------------|------------|-----------|
| 5 月 27 日 (土)  | 172  | 修復 (54)           | 歯内 (54)    | 歯周 (64)   |
| 6 月 24 日 (土)  | 200  | 有床 (102)          | クラブリ他 (98) |           |
| 7 月 22 日 (土)  | 160  | 口外 I (80)         | 口外 II (80) |           |
| 8 月 26 日 (土)  | 113  | 小児 (107)          | 高齢者 (6)    |           |
| 9 月 26 日 (火)  | 137  | 矯正 (86)           | 放射線 (24)   | 麻酔 (27)   |
| 11 月 25 日 (土) | 288  | 必基① (101)         | 必基② (73)   | 必基③ (114) |
| 12 月 23 日 (土) | 278  | 必臨① (108)         | 必臨② (97)   | 必臨③ (73)  |
| 1 月 27 日 (土)  | 演習予備 | 予備                | 予備         | 予備        |

必修問題の内訳：

必基①：解剖・組織・生理・生化・病理

必基②：細菌・薬理・理工

必基③：衛生

必臨①：修復・歯内・歯周・有床・口外・クラブリ

必臨②：高齢者・歯放・歯麻

必臨③：小児歯科・矯正

### 週間復習試験日程

当該週の火曜日行われた講義内容に関する復習試験を以下の日程で実施する。

実施は原則として金曜日の 8 時限の 17:30 から 18:30 とする。

|   |          |    |          |    |          |    |           |    |           |    |          |
|---|----------|----|----------|----|----------|----|-----------|----|-----------|----|----------|
| 1 | 4 月 21 日 | 7  | 6 月 9 日  | 13 | 7 月 21 日 | 19 | 10 月 17 日 | 25 | 11 月 28 日 | 31 | 1 月 19 日 |
| 2 | 4 月 28 日 | 8  | 6 月 16 日 | 14 | 8 月 4 日  | 20 | 10 月 24 日 | 26 | 12 月 1 日  |    |          |
| 3 | 5 月 12 日 | 9  | 6 月 23 日 | 15 | 9 月 2 日  | 21 | 10 月 31 日 | 27 | 12 月 8 日  |    |          |
| 4 | 5 月 19 日 | 10 | 6 月 30 日 | 16 | 9 月 12 日 | 22 | 11 月 7 日  | 28 | 12 月 15 日 |    |          |
| 5 | 5 月 26 日 | 11 | 7 月 7 日  | 17 | 9 月 19 日 | 23 | 11 月 14 日 | 29 | 12 月 22 日 |    |          |
| 6 | 6 月 2 日  | 12 | 7 月 14 日 | 18 | 9 月 26 日 | 24 | 11 月 21 日 | 30 | 1 月 12 日  |    |          |

### 月間復習試験日程

当該月の火曜日行われた全講義内容に関する復習試験を以下の日程で実施する。

実施は原則として土曜日の 1 時限の 8:40 から 9:40 とする。

|   |          |   |          |   |           |   |           |   |          |
|---|----------|---|----------|---|-----------|---|-----------|---|----------|
| 1 | 5 月 27 日 | 3 | 7 月 22 日 | 5 | 9 月 26 日  | 7 | 11 月 25 日 | 9 | 1 月 27 日 |
| 2 | 6 月 24 日 | 4 | 8 月 17 日 | 6 | 10 月 26 日 | 8 | 12 月 23 日 |   |          |

**教科書・参考書・推薦図書** …予め指定する図書はありません。

| 区分 | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|----|-----|-----|-----|-----|
|    |     |     |     |     |

**成績評価方法・基準・配点割合等**

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期試験は各科目を統合した総合試験とする。</li> <li>・ 総合試験（前期、後期）を90%とし、週間および月間復習試験を10%として評価する。<br/> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 前期総合試験と後期総合試験の点数配分 前期：後期＝40%：50%</li> <li>* 判定基準は総合試験、週間および月間復習試験の合計が65%以上を合格とする。</li> </ul> </li> </ul> |
|--|

**特記事項・その他**（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用等）

|  |
|--|
| <p>講義資料は必要に応じてWebClassにアップロードする。事前および事後に当該科目のDESS演習を活用する。週間復習試験ではその週に受講した講義内容についての習熟度の確認を、月間復習試験では該当月間に受講した講義内容を中心とした習熟度の確認を行う。</p> <p><b>【総合試験の受験資格1（出席）】</b><br/>         以下の条件をすべて満たした場合に出席にかかる前期試験の受験資格を認める。<br/>         ・ 4～7月の当該科目の出席（講義およびDESS最終演習）が5分の4以上であること<br/>         ・ 4～7月に実施される週間復習試験を5分の4以上受験していること<br/>         ・ 4～7月に実施される月間復習試験を5分の4以上受験していること</p> <p>以下の条件をすべて満たした場合に出席にかかる後期試験の受験資格を認める。<br/>         ・ 8～1月の当該科目の出席（講義およびDESS最終演習）が5分の4以上であること<br/>         ・ 8～1月に実施される週間復習試験を5分の4以上受験していること<br/>         ・ 8～1月に実施される月間復習試験を5分の4以上受験していること</p> <p><b>【総合試験の受験資格2（DESS演習および臨床・必修試験）】</b><br/>         以下の条件をすべて満たした場合に、臨床・必修試験に係る後期試験の受験資格を認める。<br/>         ・ 臨床試験を受験すること<br/>         ・ 必修試験2回の成績が各80%以上<br/>         * 試験結果により合格水準および再試験内容を変更することがある。必修試験で不合格になったものは、再試験を継続受験し、後期試験前までに80%以上得点し合格することを原則とする。</p> <p>以下の条件をすべて満たした場合に、DESS演習に係る後期試験の受験資格を認める。<br/>         ・ 空き時間利用演習（4月臨床実地、5月基礎・臨床）及び講義室演習の成績が80%以上<br/>         * 上記各試験で不合格になったものは、再演習を受験し、後期試験前までに80%以上得点し合格することを原則とする。</p> |
|--|

**授業に使用する機械・器具と使用目的** …特記すべき器械・器具等はありません。

| 使用機器・器具等の名称・規格 | 台数 | 使用区分 | 使用目的 |
|----------------|----|------|------|
|                |    |      |      |